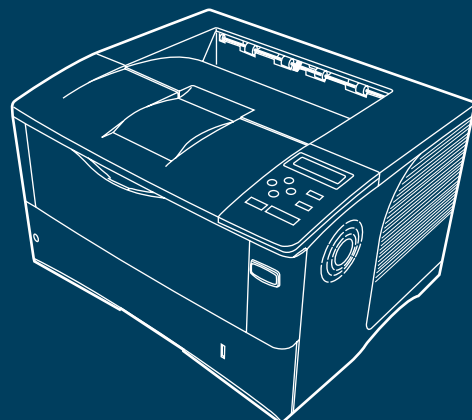
使用説明書

LS-6950DN

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
また、お読みになった後は、本機の近くに保管してください。

はじめに

LS-6950DN をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

目次

安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

法律上のご注意

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

国際エネルギースタープログラム

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは

国際エネルギースタープログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促進し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

国際エネルギースタープログラムの基準により、プリンタは最後に機器を使用してから一定時間経過すると、自動的に消費電力を最小にするオートスリープを備えていることが必要です。本製品は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合するために、次の仕様を備えています。

オートスリープ

最後に印刷してから 15 分を経過すると、自動的にスリープモードに移行します。なおスリープモードへの移行時間は、5 分から 240 分の間で変更可能です。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。

オートスリープの初期設定時間	スリープモード時の電力消費量	電源オフ時の電力消費量
15 分（60 分）	9 W（40W）	0 W

（　）はエネルギースタープログラムの基準値です。

両面印刷機能について

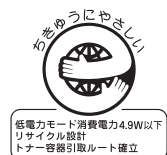
エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない両面印刷機能を推奨しています。本機は用紙の両面に印刷できる機能を用意しております。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙両面に印刷することで、紙の使用量を軽減できます。

再生紙

エネルギースタープログラムでは環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。

グリーン購入

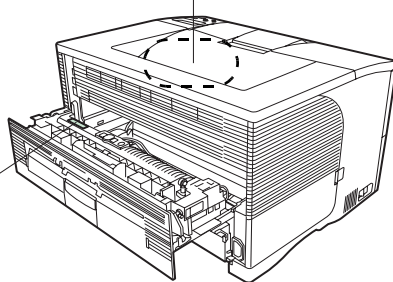
本製品は「グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進に関する法律）」の定める「特定調達物品」の判断基準に適合する環境に配慮した製品です。

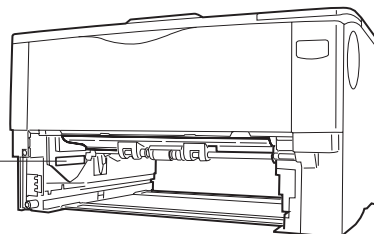
エコマーク

本製品は、財団法人日本環境協会エコマーク事務局認定エコマーク商品です。

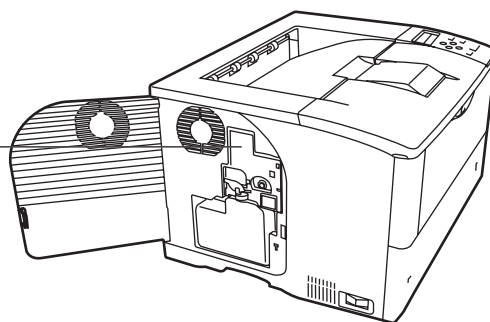
認定番号 第 06122017 号

「製造」「使用」「廃棄」の段階で環境のためにより良い製品です。

注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置時に、火傷などの事故のないようご注意ください。

高温注意

この部分は高温になっています。火傷のおそれがありますので、触れないようにしてください。

定格ラベル

一般的な注意と消費電力を表示しています。

お願い：これらのラベルははがさないようにしてください。

本書中の注意表示について

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

「注意一般」、「感電注意」、「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」、「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」、「電源プラグをコンセントから抜け」、

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本書の注意・警告事項が判読できない場合や、本書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

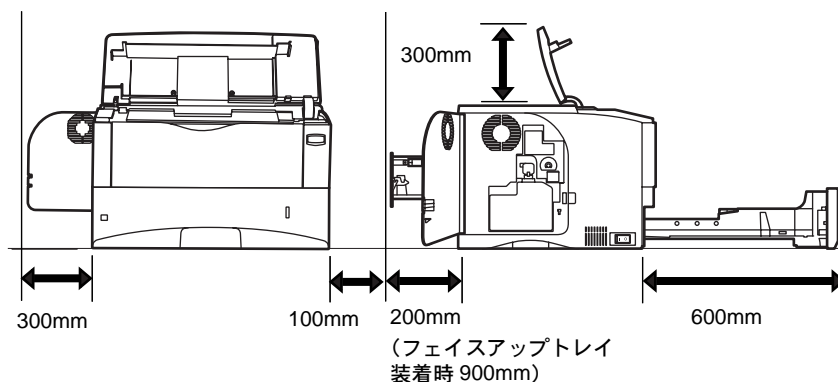
機械を設置する時のご注意

設置環境について

本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。

本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に機械背面には通気口があり、壁などに近づけないでください。充分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。

その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 23 ℃、湿度 60 %RH が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量に印刷をする場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

設置電源・アースについて

 警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は裏表紙をご覧ください。

その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて

 警告

本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。

取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて

 警告

本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。

本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。

本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電のおそれがあります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は裏表紙をご覧ください。

万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は裏表紙をご覧ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

内部の点検　修理は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へ依頼してください。電話番号は裏表紙をご覧ください。

注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）

本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源を切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。

本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品内部の清掃については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は裏表紙をご覧ください。

その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

印刷中には次のことをしないでください。

- カバー類を開ける。
- 電源を切る。
- 電源コードを抜く。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

本書に記載されていないことは行わないでください。

消耗品の取り扱いについて

注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または、京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

トナーコンテナは、直射日光の当たる場所や、急激な温度・湿度の変化がある場所を避けて、40 ℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットから取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

補修用性能部品について

弊社の保守サービスのために必要な補修用および消耗品の最低保有期間は、販売終了後 5 年間です。

ご注意

本機を使用した結果の影響については、本書の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

JIS C 61000-3-2 適合品。

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本プリンタは仕様の範囲内でご使用ください。保守契約を結ばれることをおすすめします。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。
  KPDL は京セラ株式会社の商標です。
- PC-PR201/65A は日本電気株式会社の製品です。
- 3M は、3M 社の商標です。
- VP-1000 はセイコーエプソン株式会社の製品です。ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Power PC は IBM 社の米国、その他の国における商標です。
- IBM5577 は、日本アイ・ビー・エム株式会社の製品です。
- マイクロドライブは、Hitachi Global Storage Technologies の登録商標です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows NT および Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- 本プリンタがエミュレートしている HP LaserJet の制御言語である PCL 6 は、米国 Peerless Systems Corporation が開発した互換システム PeerlessPrintXL を使用しています。PeerlessPrintXL は米国 Peerless Systems Corporation（2381 Rosecrans Ave. El Segundo, CA90245, U.S.A.）の商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイム OS 統合環境 Tornade™ を用いて開発されました。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本製品は、USB インプリメンターズ・フォーラムの認証試験に合格しています。

IBM プログラムのご使用条件

お客様がご購入された機器には、International Business Machines Corporation（以下 IBM といいます）が所有権を持つ一またはそれ以上の「プログラム」が含まれています。本「IBM プログラムのご使用条件」には、お客様がこれらのプログラムをご使用いただく場合の条件が記載されています。本「IBM プログラムのご使用条件」にご同意いただけない場合、お客様は機器を取得された日から 14 日以内に返却することで代金全額の返金を受けることができます。機器の取得から 14 日以内に当該機器の返却が行われない場合、お客様はこのご使用条件にご同意いただいたものとみなされます。

この「プログラム」は使用許諾されるものであって、売買の対象ではありません。IBM もしくはお客様の国の IBM は、お客様に対して「プログラム」を取得された国内における使用権のみを許諾します。お客様はこの使用条件のもとで認められた権利のみを有します。

「プログラム」とは、プログラムの原本およびその全体または部分的複製物（改変複製物または他のプログラムに組み込まれた部分を含みます。）を意味します。IBM は「プログラム」の著作権を所有しているか、もしくは権原者より使用権を取得しています。

1. 使用権

本使用権の下でお客様は「プログラム」が導入された機器と共に「プログラム」を使用し、また「プログラム」の使用権および機器の所有権を第三者に移転することができます。「プログラム」の使用権を移転する場合、お客様は本「IBM プログラムのご使用条件」およびその他のすべての関連資料を当該第三者に移転しなければなりません。その移転に伴いお客様の使用権は終了します。移転先の第三者は「プログラム」を最初にご使用になったことにより本「IBM プログラムのご使用条件」に同意いただいたものとします。

お客様は、1）この使用条件に明記されている場合を除き、「プログラム」を使用、複製、改変、結合もしくは、移転すること、２）「プログラム」を逆アセンブルもしくは逆コンパイルすること、3)「プログラム」を再使用許諾、賃貸、貸与することはできません。

2. 保証の内容と制限

「プログラム」は現状の状態で提供されます。

この「プログラム」には、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証はありません。国または地域によっては法律の強行規定により、上記の保証の制限が適用されない場合があります。

3. 責任の制限

IBM がこの使用条件で負う全ての責任は以下のものです。

１）本使用権に関する、いかなる形式のいかなる申し立て（契約不履行が含まれます。）に対しても、IBM の賠償責任は実際の直接損害に対してのみ、a) お客様が居住する国の通貨で 25,000 米国ドル相当額、もしくは、b) 当該「プログラム」の IBM 価格のうちの大きい方の金額を限度とする金銭賠償責任に限られます。

この制限は、IBM が法的責任を負うお客様に生じた身体、生命および有体物に対する損害賠償には適用されません。

IBM は、IBM または IBM 認定再販売者の予見の有無を問わず発生した逸失利益、特別損害、付随的損害、間接損害、あるいはその他の拡大損害について責任を負いません。

IBM は第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害について責任を負いません。

本項の責任の制限は、IBM に「プログラム」を提供した「プログラム」開発者に対する損害賠償請求にも適用されるものとします。お客様は IBM および「プログラム」開発者に対して重複して損害賠償を請求することはできません。ここでの「プログラム」開発者とは、この項で利益を受ける者をいいます。国または地域によっては、法律の強行規定により上記の責任の制限の規定が適用されないことがあります。

4. その他

お客様はいつでも使用権の使用を解除できます。お客様が本ご使用条件に違反した場合には、IBM はこの使用契約を解約できます。この場合、お客様は「プログラム」のすべての複製を破棄、滅却しなければなりません。「プログラム」を使用することで発生するいかなる税金のお支払いもお客様の負担とします。
この使用契約に基づく請求権は、請求のいかんにかかわらずその原因が発生した日から 2 年を経過したときに時効により消滅するものとします。お客様が「プログラム」をアメリカ合衆国で取得された場合にはニューヨーク州の法律が適用されます。カナダで取得された場合にはオンタリオ州の法律が適用されます。その他の国で取得された場合には、取得した国の法律が適用されます。

フォントの商標について

- 本プリンタに搭載されている欧文フォントは、すべて Monotype Imaging Inc. からのライセンスを受けています。
- 本製品は Monotype Imaging Inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。
- Times は Linotype-Hell AG の登録商標です。
- DFHSGOTHIC-W5 と DFHSMINCHO-W3 は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラミタ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- TypeBankG-B、TypeBankM-M および TypeBank-OCR はタイプバンク ® の商標です。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル　アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。

2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。
8. 当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
9. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。
10. いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
11. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
12. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび / またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
13. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の（b）（3）（ii）項または（c）（1）（ii）項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 （c）（2）項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
14. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

本機の特長

本機は次の特長を備えています。

概要

高速印刷

A4 サイズで 1 分間に 32 枚、A3 サイズで 1 分間に 16 枚の印刷が可能です（実際の印刷時間は、印刷の内容によって変わります）。

多彩な用紙種類に印刷可能

普通紙はもちろん、OHP フィルムやラベル用紙、その他の特殊用紙にも印刷できます。

オートスリープ

一定の時間内に操作やデータの受信が行われなかった場合、消費電力を抑えるオートスリープを搭載しています。

ハードウェア

ハードウェア拡張スロット

拡張スロットを装備し、ネットワークインタフェースカードをプリンタに追加できます。

USB（Universal Serial Bus）インタフェースを装備

Hi-Speed USB に準拠した USB インタフェースを装備しています。480 Mbps の最大通信速度で、高速データ転送を行います。

ハードディスクユニット

ハードディスクユニットとして、マイクロドライブをプリンタに追加できます。
ハードディスク内のオプションフォント、マクロ、フォームなどを、操作パネルから選択して読み込めます。

メモリカード（CF カード）スロット

コンパクトフラッシュカード（CF カード）をプリンタに装着できます。CF カード内のオプションフォント、マクロ、フォームなどを、操作パネルから選択して読み込めます。

大容量給紙カセット

給紙カセットには約 250 枚の用紙を収納できます。また手差しトレイには約 100 枚の用紙を収納できます。

ソフトウェア

e-MPS 機能

e-MPS（enhanced Multiple Printing System）機能は、電子ソート機能、ジョブリテンション機能およびバーチャルメールボックス機能を実現します。

用紙の自動選択（メディアタイプセレクション）機能

印刷する用紙の種類（普通紙、OHP フィルム、ラベル用紙など）を、あらかじめ各給紙元に設定しておくことで、印刷時に指定した用紙の種類を自動的に選択して印刷できます。

プリスクライブコマンド

グラフィック機能がより強化されたページプリンタ制御言語プリスクライブコマンドを内蔵しています。マージン設定や文字間隔、行間隔の変更、アウトラインフォント、図形に対しての回転、塗りつぶしなどを簡単なコマンドで実現します。

KPDL3（Kyocera Printer Description Language3）

Adobe PostScript Level 3 と互換の京セラのページ記述言語です。Adobe 社の PostScript フォントと互換性がある和文 2 フォントと、欧文 136 フォントを搭載しています。アップグレードキット UG-16（オプション）を装着することによって、KPDL3 が使用できるようになります。

部門管理機能

本機には、部門管理機能が搭載されています。この機能は、部門ごとの印刷ページ数を記録したり、印刷できるページ数を部門ごとにプリンタに設定できる機能で、操作パネルから行えます。詳しくは、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

ネットワーク機能

ネットワークインタフェース

TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI および AppleTalk プロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

SNMP（Simple Network Management Protocol）

本機は SNMP と互換性があり、ホスト PC との各種情報のやり取りが可能です。

使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

1　各部の名称

本体各部の名称と操作パネルのキー名称・インジケータ名称を説明しています。

2　使用前の準備

ネットワークで使用する場合に必要な設定、ドライバのインストールについて説明しています。

3　日常のメンテナンス

用紙の補給、トナーコンテナの交換方法、本機の清掃について説明しています。

4　困ったときは

エラーが表示されたときや紙づまりなど、トラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

付録

本機のオプション品、仕様を説明しています。

付属マニュアルの紹介

本機には、次のマニュアルがあります。必要に応じて参照してください。

使用説明書（本書）

本機の用紙の補給方法、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

インストールガイド

本機の設置手順を説明しています。

日常のお手入れ

紙づまりの処置と清掃のしかたを説明しています。

使用説明書 応用編（CD-ROM 収録）

プリンタ機能の詳細、各種の初期設定について説明しています。

プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドを使用して、印刷を行うためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

KX プリンタドライバ操作手順書（CD-ROM 収録）

KX プリンタドライバの操作方法について説明しています。

KM-NET for Clients 操作手順書（CD-ROM 収録）

KM-NET for Clients を使用して、PC からプリンタの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

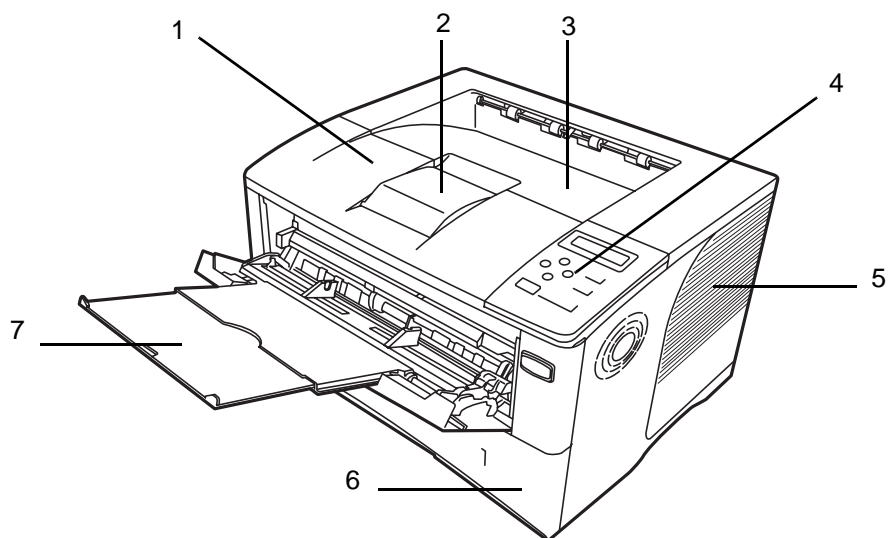
本書の読みかた

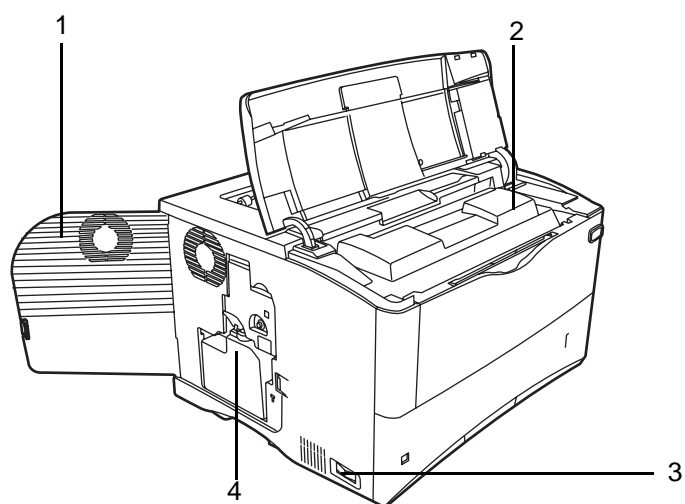
本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

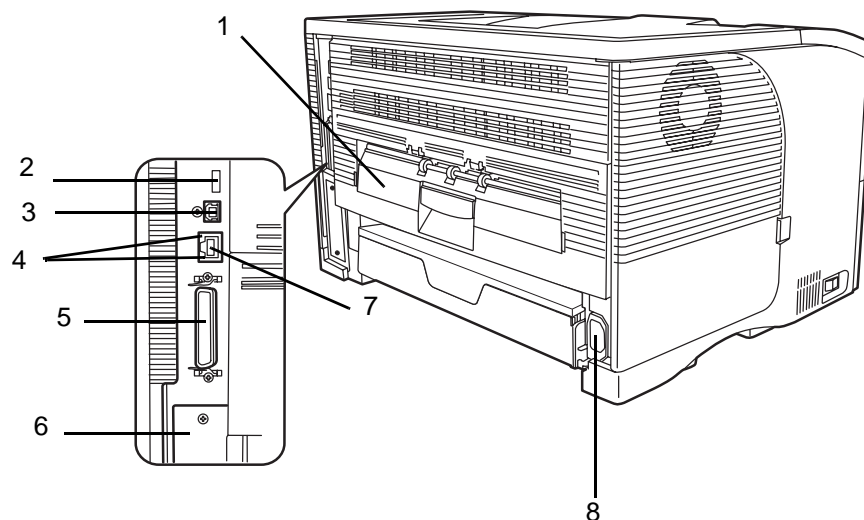
表記	説明	表記例
［太字］	操作パネル上のキーとインジケータを示します。	**［メニュー］**キーを押してください。
「太字」	メッセージディスプレイに表示されるメッセージを示します。	**「プリント デキマス」**が表示されます。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	KX **プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。 OK をクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	**参考**：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	**重要**：ドラム部分に手を触れないでください。印刷品質が低下します。
注意	けがや機械の故障を防ぐために守っていただきたい事項、およびその対処方法について書かれています。	**注意：両面ユニットの上にある板金は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。**

1　各部の名称

この章では、本体の各部と操作パネルの名称を説明します。

プリンタ前面

1 上カバー
2 ペーパーストッパ
3 フェイスダウントレイ
4 操作パネル
5 右カバー
6 給紙カセット
7 手差しトレイ

プリンタ側面 / 内部

1 左カバー
2 トナーコンテナ
3 電源スイッチ
4 廃棄トナーボックス

プリンタ背面

1　後ユニット

2　USB メモリスロット

3　USB インタフェース

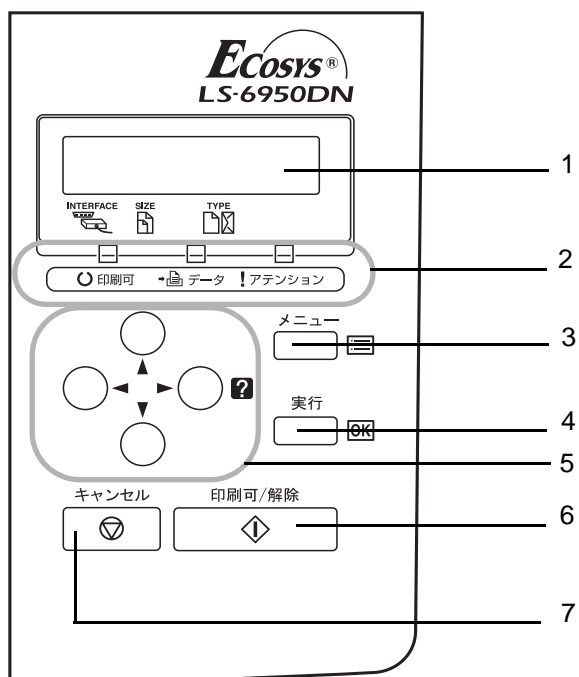
4　ネットワークインジケータ

5　パラレルインタフェース

6　拡張インタフェーススロット（ネットワーク /CF カード / マイクロドライブ）

7　ネットワークインタフェース

8　電源コネクタ

操作パネル

1　メッセージディスプレイ
2　インジケータ
3　［メニュー］キー
4　［実行］キー
5　矢印キー
6　［印刷可 / 解除］キー
7　［キャンセル］キー

2　使用前の準備

この章では、本機をネットワークで使用する前に必要な設定と、プリンタドライバのインストールについて説明します。

ネットワークの設定

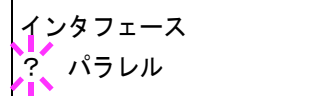
本機は TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、および AppleTalk プロトコルに対応しています。さらに拡張インタフェーススロットに、オプションのネットワークカードを装着できます。

オプションのネットワークカードについては、ネットワークインタフェースカードの**使用説明書**を参照してください。

1. ［メニュー］キーを押します。

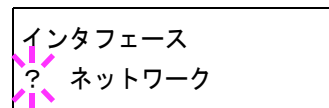
2. 「**インタフェース　>**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。「**パラレル**」（初期設定）、「**USB**」、「**ネットワーク**」、または「**オプション**」のいずれかが表示され、現在選択されているインタフェースを示します。

3. ［実行］キーを押すと、「**?**」が点滅します。

   インタフェース
   ?　パラレル

4. 「**ネットワーク**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。
   オプションのネットワークカードを設定する場合は、「**オプション**」が表示させるまで、▲ または ▼ キーを押します。

   インタフェース
   ?　ネットワーク

5. もう一度、［実行］キーを押します。

6. ▶ キーを押します。▲ または ▼ キーを押すごとに、次のように表示が変わります。次の説明を参考にして設定します。

```
>NetWare
  オフ
```

NetWare ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択します。サブメニューの中で、フレームタイプを**「ジドウ」**、「802.3」、「Ethernet-II」、「SNAP」と「802.2」から選択できます。

```
>TCP/IP
  オフ
```

TCP/IP で Windows ネットワークなどに接続する場合は**「オン」**を選択します。サブメニューでは、DHCP、BOOTP、IP アドレス、サブネットマスクアドレス、ゲートウェイアドレスの各アドレスが設定できます。(IP アドレスについては、次の手順 8 以降を参照してください。)

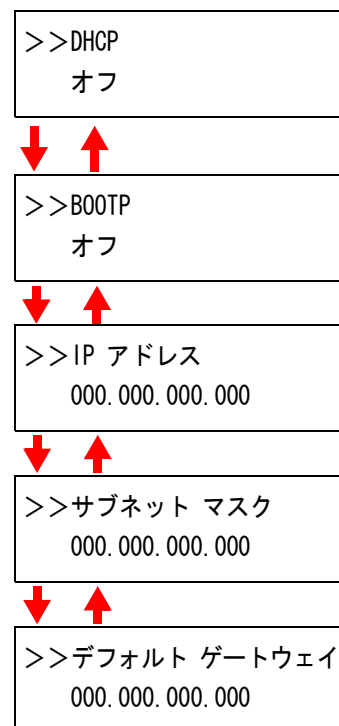
AppleTalk ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択します。

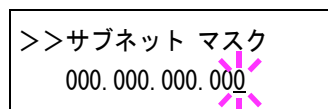
```
>ネットワーク インタフェース
 ステータスノインサツ  オフ
```

「オン」を選択すると、本機のステータスページを印刷したときに、同時にネットワークステータスページが印刷されます。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（操作パネルの使いかた）**を参照してください。

7 ここでは例としてネットワークに本機を接続するために、TCP/IP プロトコルを有効にする手順を説明します。同様の手順で「NetWare」や「AppleTalk」を選択できます。

「TCP/IP」が**「オフ」**の場合は、［**実行**］キーを押し、▲ または ▼ キーで**「オン」**を選択して、もう一度［**実行**］キーを押します。

8 ▶キーを押します。▲または▼キーを押すごとに次のように表示が変わります。

9 設定する項目を表示させ［**実行**］キーを押します。
「DHCP」を設定中は、「?」が点滅します。「**IP アドレス**」や「**サブネット マスク**」、「**デフォルト ゲートウェイ**」の設定中は、カーソル（_）が点滅します。

>>サブネット マスク
000.000.000.000

10 「DHCP」の設定は、▲または▼キーで「**オン**」または「**オフ**」を選択します。

「IP **アドレス**」や「**サブネット マスク**」、「**デフォルト ゲートウェイ**」の設定は、▲または▼キーで、カーソルが点滅している場所の数字（000 から 255）を変更してください。◀または▶キーを使ってカーソルを左右に移動させることができます。

設定するネットワークアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

11 ［**実行**］キーを押します。

12 ［**メニュー**］キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

ネットワークステータスページの印刷

ステータスページを印刷した際に、続けてネットワークステータスページも印刷できます。ネットワークステータスページでは、ネットワークインタフェースのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコル等の情報を確認できます。初期設定は「**オフ**」（印刷しない）です。

参考：オプションのネットワークインタフェースカードによっては、ネットワークステータスページを印刷しない場合があります。詳しくは、ネットワークインタフェースカードの使用説明書を参照してください。

次の手順で設定します。

1 ［**メニュー**］キーを押します。

2 「**インタフェース ＞**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**？**」が点滅します。

インタフェース
? パラレル

4 「**ネットワーク**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。

インタフェース
? ネットワーク

5 もう一度、［**実行**］キーを押します。「**？**」が消えます。

インタフェース
ネットワーク

6 ▶ キーを押します。次に、「**＞ネットワーク インタフェース ステータス ノ インサツ**」が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。

7 ［**実行**］キーを押します。「**？**」が点滅します。

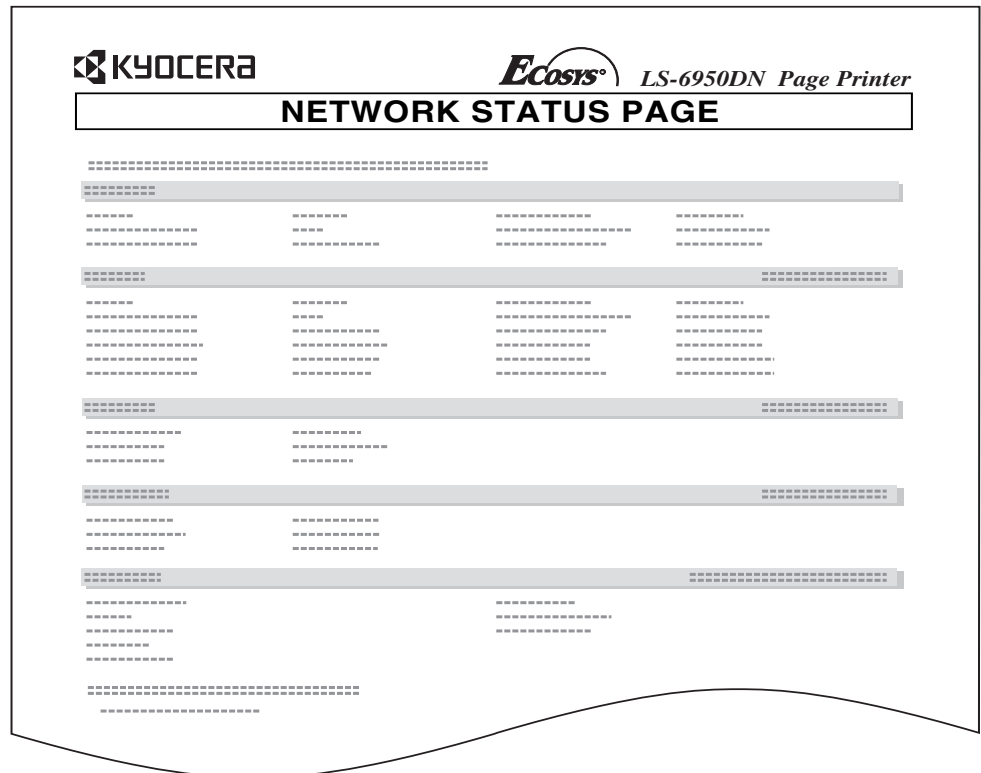
＞ネットワーク インタフェース
ステータス ノ インサツ? オフ

8 ▲ または ▼ キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択します。

＞ネットワーク インタフェース
ステータス ノ インサツ? オン

9 ［**実行**］キーを押します。

10 ［**メニュー**］キーを押します。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

ネットワークステータスページの見本

プリンタドライバのインストール

インストールガイドにしたがって本機に PC と電源を接続し、プリンタドライバをインストールします。プリンタドライバは、アプリケーションで作成したデータを印刷するために必要です。使用方法については、CD-ROM 収録の KX **ドライバ操作手順書**を参照してください。

Windows へのインストール

ネットワークインタフェースまたは USB インタフェース接続の場合

1. PC の電源を入れ、Windows を起動します。

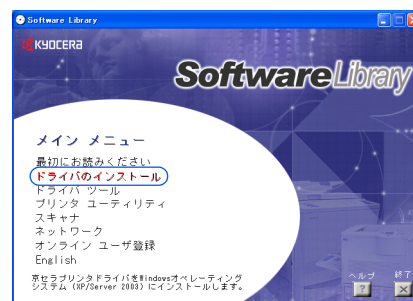
2. 付属の CD-ROM（Software Library）を、PC の光学ドライブにセットします。

   しばらくすると、CD-ROM の使用許諾画面が表示されます。**使用許諾を表示**をクリックして内容を確認したあと、**同意する**をクリックします。メインメニューが表示されます。

   CD-ROM を入れても使用許諾画面が表示されない場合は、Windows のエクスプローラから

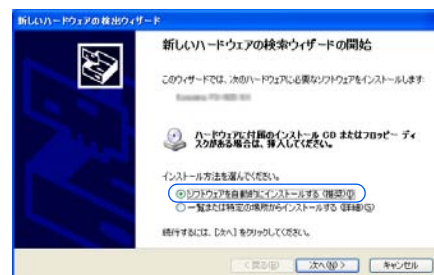
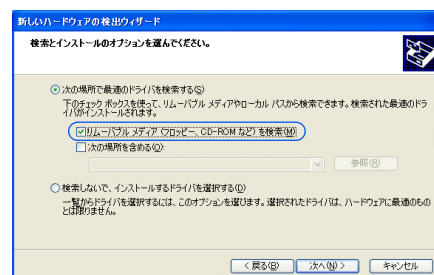
   CD-ROM のルートディレクトリを開き、Setup.exe をダブルクリックしてください。

3. プラグアンドプレイによって、**新しいハードウェアの検索**ウィザードの画面が表示された場合は、**キャンセル**をクリックします。

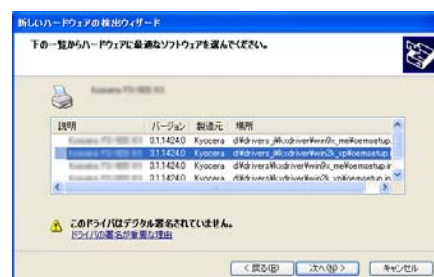
4. **ドライバのインストール**をクリックし、画面の表示にしたがって、プリンタドライバをインストールします。

パラレルインタフェース接続の場合

1. PC の電源を入れ、Windows を起動します。

2. 付属の CD-ROM（Software Library）を、PC の光学ドライブにセットします。CD-ROM の使用許諾画面が表示されますが、**終了**を押してこの画面を閉じます。

3 プラグアンドプレイによって、**新しいハードウェアの検索**ウィザードが表示されます。**ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）**を選び、**次へ**をクリックします。

4 **次の場所で最適のドライバを検索する**を選び、**リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索**にチェックマーク（✓）を入れます。**次へ**をクリックします。

5 OS ごとにプリンタドライバのリストが表示されるので、次のようにプリンタドライバを選択して**次へ**をクリックします。

Windows 98/Me を使用している場合：
drivers_j¥kxdriver¥win9x_me¥oemsetup.inf

Windows 2000/XP を使用している場合：
drivers_j¥kxdriver¥win2x_xp¥oemsetup.inf

6 表示されるウィザードの画面にしたがって、プリンタドライバをインストールします。

Macintosh へのインストール

1 本機と Macintosh の電源を入れます。

2 付属の CD-ROM（Software Library）を光学ドライブへセットします。

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4 使用している OS のバージョンにあわせて、OS X または OS 9.x and Earlier をダブルクリックします。

5 Kyocera OS X Japanese x.x または Kyocera Japanese x.x をダブルクリックします。プリンタドライバのインストールプログラムが起動します。

6 インストールプログラムの表示にしたがってプリンタドライバをインストールします。

アプリケーションからの印刷

次の手順で、アプリケーションで作成した文書を印刷できます。

1. 給紙カセットに用紙を入れます。
2. アプリケーションの**ファイル**メニューから**印刷**を選択します。印刷ダイアログボックスが表示されます。
3. プリンタのリストから印刷するプリンタを選択します。
4. 印刷したい部数を**部数**に入力します。
5. OK をクリックします。印刷が始まります。

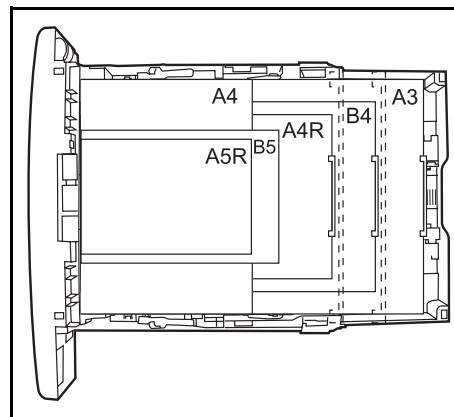
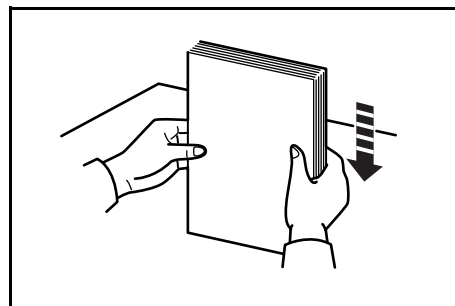
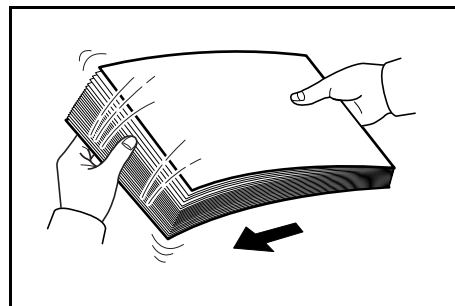
参考：プリンタドライバのその他の機能については、KX **プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

3　日常のメンテナンス

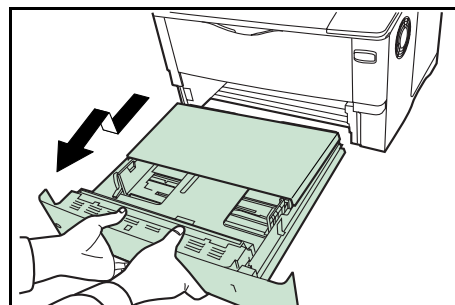
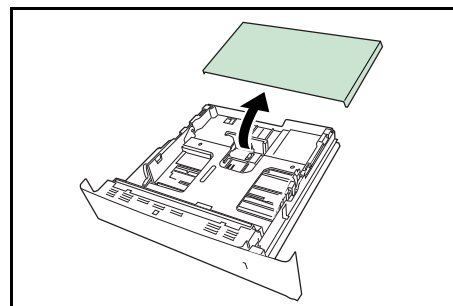
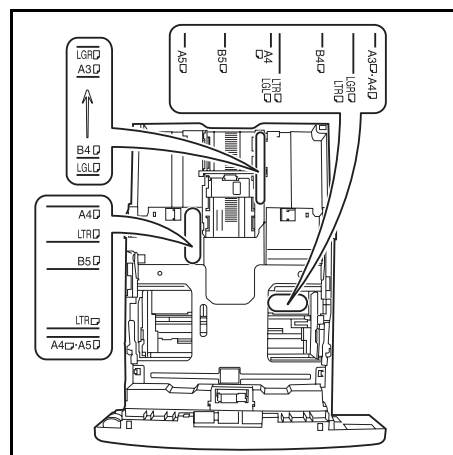
この章では、用紙の補給、トナーコンテナの交換、プリンタ内部の清掃方法について説明します。

用紙の補給

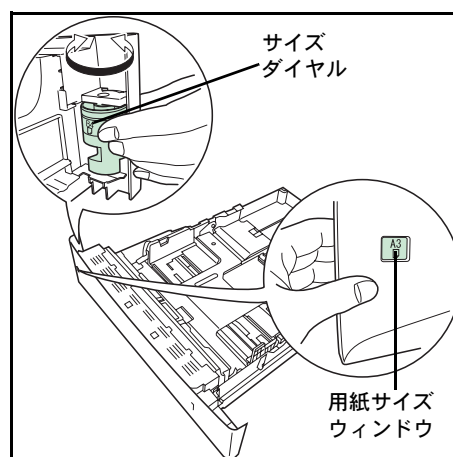
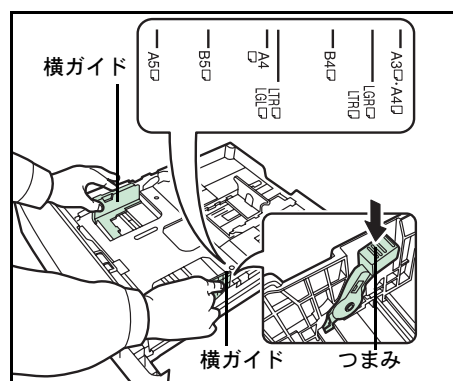
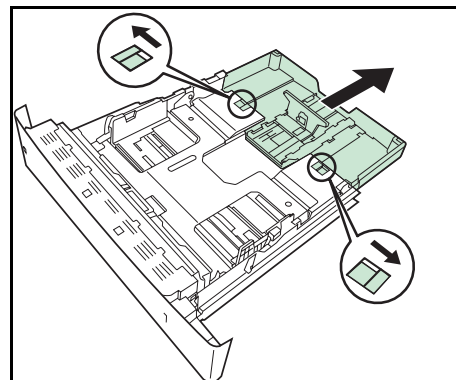
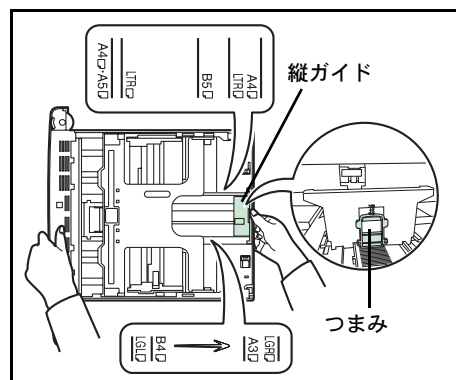
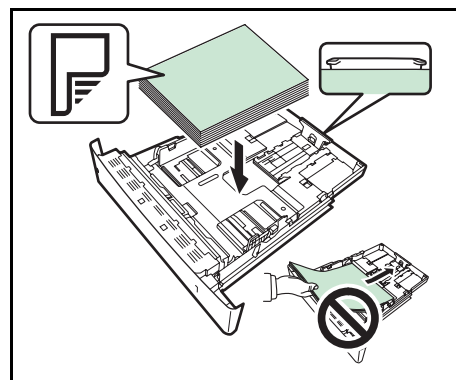
カセットや手差しトレイに用紙を補給する手順について説明します。

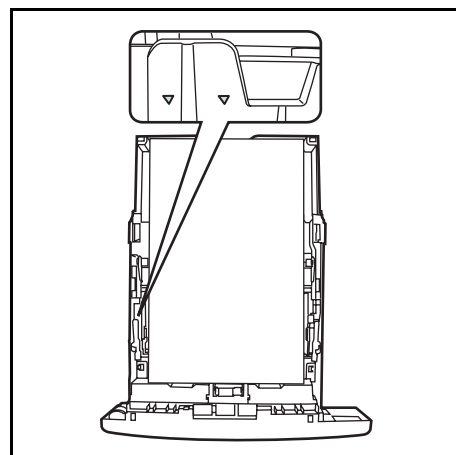
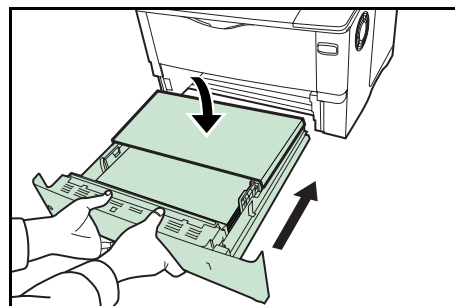
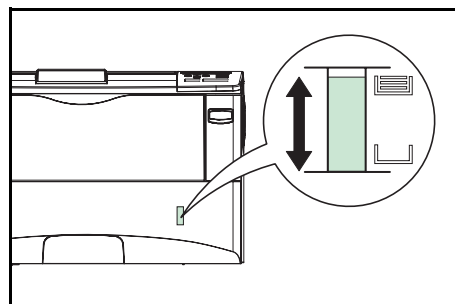
給紙カセットは、A5 ～ A3/Ledger サイズの用紙を 250 枚までセットできます。

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする際は、図のように用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよく揃えてください。

給紙カセットの用紙の補給

次の手順で、給紙カセットに用紙を補給します。

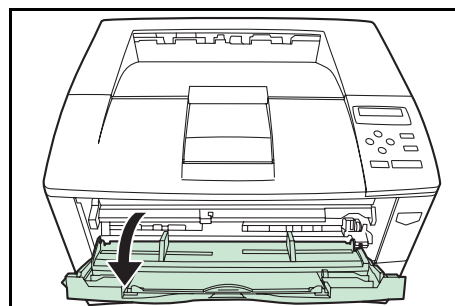
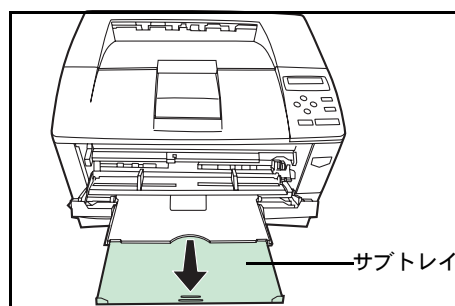
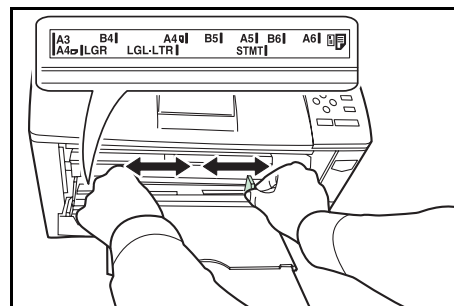
1 給紙カセットを、図のように引き出します。

2 カセットカバーを取り外します。

用紙サイズは図のように、給紙カセットに刻印されています。

3 サイズダイヤルを回して、使用する用紙サイズが見えるように合わせます。

参考：不定形の用紙を使用する場合は、サイズダイヤルを OTHER にセットしてください。その際は操作パネルからその用紙サイズを設定することが必要です。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。

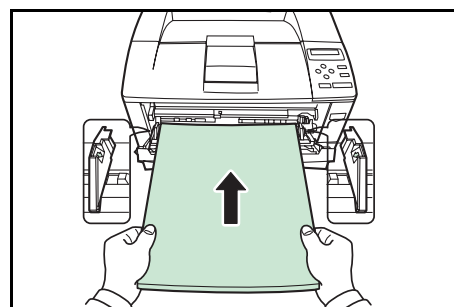
---

4 左右の横ガイドの位置を調整します。つまみを押したまま横ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

5 A3 または Ledger の用紙サイズに印刷する場合は、2 つのロックレバーそれぞれを押してロックを解除し、拡張給紙カセットを引き出します。そして、用紙サイズに合うようにカセットのサイズを調整します。

6 給紙カセット後部の縦ガイドの位置を調整します。つまみを引き上げながら縦ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

7 用紙の端をそろえ、印刷する面を下にして、図のように給紙カセットに入れます。

重要：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。

厚さ 0.11 mm/ 枚の用紙で約 250 枚までです。

8 給紙カセットにカセットカバーを取り付け、奥まで押し込みます。

給紙カセット前面の右側に用紙残量表示があります。用紙の残量に合わせて表示が上下します。

手差しトレイの用紙の補給

次の手順で、手差しトレイに用紙を補給します。

1 手差しトレイを手前に、止まるまで開きます。

2 サブトレイを引き出します。

3 用紙ガイドの位置を調整します。用紙サイズは手差しトレイに刻印されているので、用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

4 用紙の先端をそろえて、手差しトレイに入れます。

重要：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。

すでに印刷されている用紙の裏面を使用するときなど、用紙がカールしている場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。

5 操作パネルで、手差しトレイの用紙サイズを設定してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。

トナーコンテナの交換

トナーが残り少なくなると、メッセージディスプレイに**「トナーガ　スクナクナリマシタ」**が表示されます。このメッセージの表示後もそのまま印刷を続けることが可能ですが、一定枚数の印刷を行うと**「トナーヲ　コウカンシテクダサイ」**が表示されて、プリンタは停止します。最初のメッセージが表示されたら早めにトナーキットを準備してください。

トナーコンテナの交換時期

トナーコンテナは、約 20,000 ページ印刷するごとに交換する必要があります（A4/ 印刷率約 5 % で、エコプリントモードがオフの場合)。

参考：プリンタに付属しているトナーコンテナでは、上記と同じ条件で約 10,000 イメージです。

トナーキットの内容

- トナーコンテナ
- 廃棄トナーボックス
- 廃棄用ポリ袋：　2 枚（古いトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスを入れてください。）
- 説明書

重要：トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスクなどを近くに置かないでください。

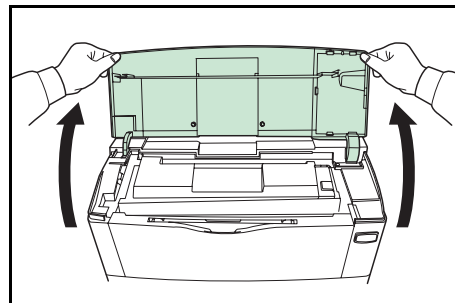
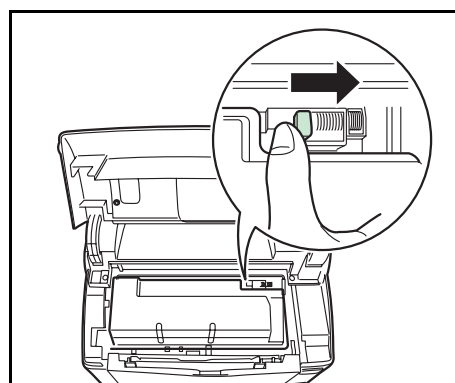
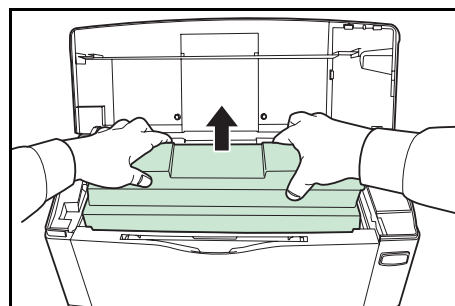
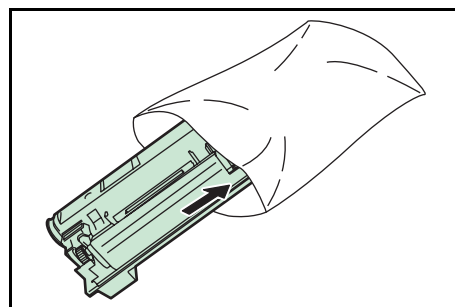
トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。詳しくは 3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。

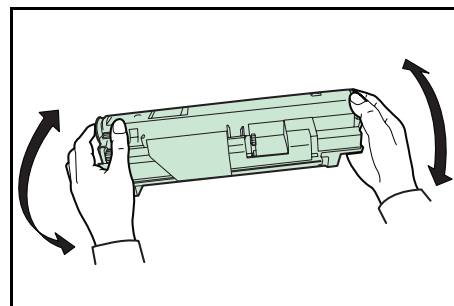
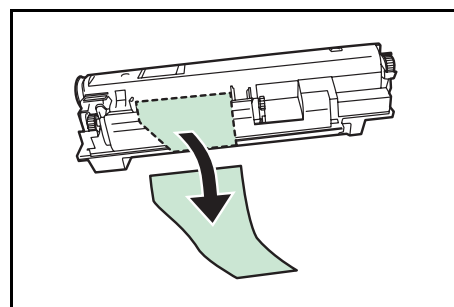
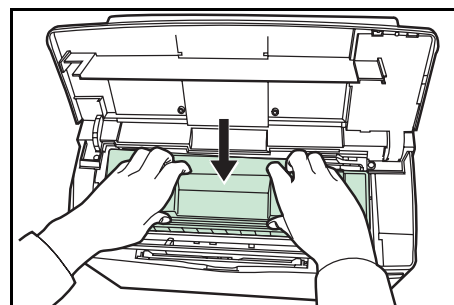
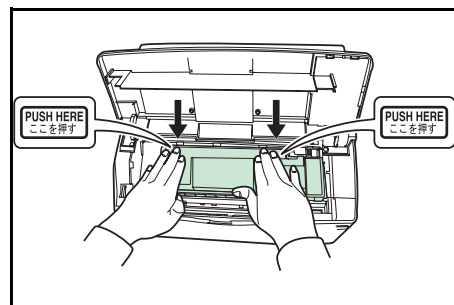
プリンタのトラブル防止や、末永くプリンタをご使用いただくため、純正トナーキットをご使用ください。純正トナーキット以外を使用した場合は、プリンタの品質を損なうなどのトラブルの原因となります。

参考：本製品のトナーコンテナに装着されているメモリチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。

トナーコンテナの交換方法

参考：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。

1 プリンタの上カバーを開きます。

2 トナーコンテナのロックレバーを右方向へ押してロックを解除します。

3 トナーコンテナをゆっくりと取り外します。

4 取り出した古いトナーコンテナは、トナーが飛散しないように付属の廃棄用ポリ袋に密封して処理します。

5 新しいトナーコンテナをトナーキットから取り出します。

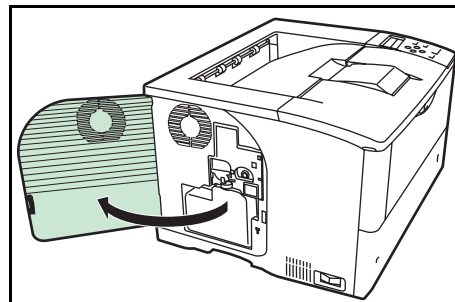
6 内部のトナーが均一になるように、注意などの刻印表示面を下側にして図のように 10 回以上振ります。

7 保護シールを取り除きます。

8 トナーコンテナの刻印表示面を上側にした状態でセットします。

9 トナーコンテナ上部の［ここを押す］の部分を押して、カチッと音がするまで確実に装着します。

10 上カバーを閉じます。

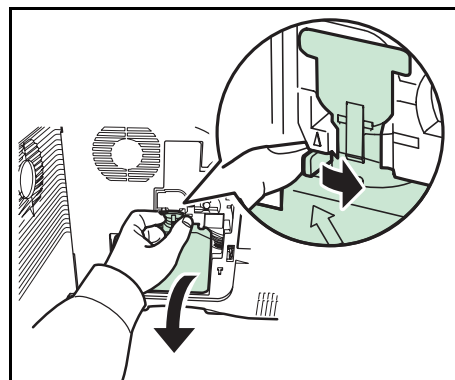
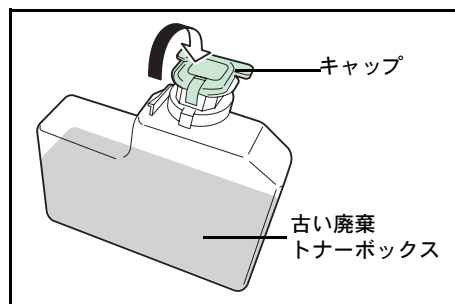
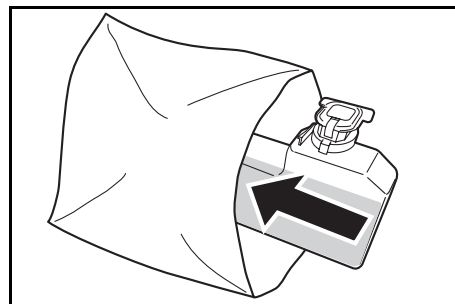
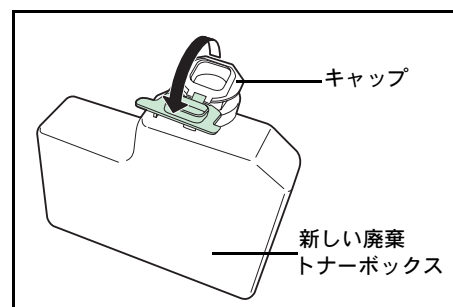
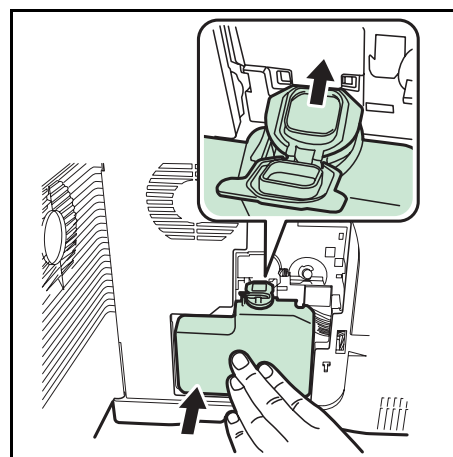
参考：京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

廃棄トナーボックスの交換

廃棄トナーボックスの交換方法

メッセージディスプレイに「**ハイキトナーボックス ヲ カクニンシテクダサイ**」と表示された場合は、次の手順で廃棄トナーボックスを交換します。交換用の廃棄トナーボックスは、新しいトナーキットに付属しています。

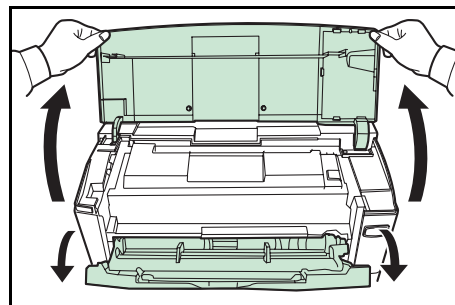
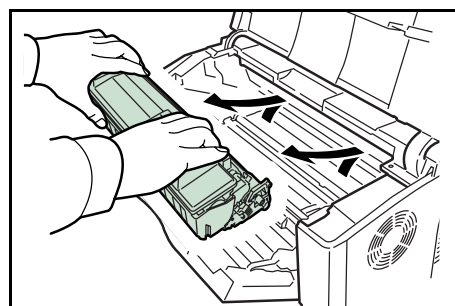
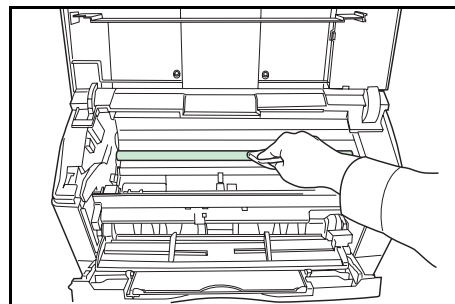
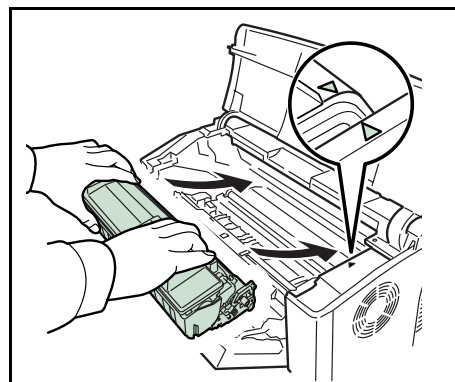
1 プリンタの左カバーを開きます。

2 廃棄トナーボックスを押さえながらロック解除レバーを押し、ゆっくりと廃棄トナーボックスを取り外します。

参考：廃棄トナーボックスを取り外すときは、トナーがこぼれないように注意してください。キャップが開いている状態で廃棄トナーボックスを下に向けたりしないでください。

3 取り出した古い廃棄トナーボックスに、図のようにキャップを閉じます。

4 古い廃棄トナーボックスは、トナーが飛散しないよう、付属の廃棄用ポリ袋に密封して処理してます。

5 新しい廃棄トナーボックスのキャップを開けます。

6 図のように新しい廃棄トナーボックスの下側を装着部に合わせ、ロックされるまで押し込んで、プリンタに装着します。

7 廃棄トナーボックスが正しく装着されていることを確認し、左カバーを閉めます。

トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。

プリンタの清掃

最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナや廃棄トナーボックスの交換時は、プリンタ内部の清掃をしてください。

1 プリンタの上カバーと手差しトレイを開けます。

2 トナーコンテナと一緒に、現像ユニットをプリンタから斜め上方向へ取り出します。

3 乾いた柔らかい布で、レジストローラ（金属）部に付着している紙粉や汚れを拭き取ります。

4 現像ユニットをプリンタに戻します。

5 上カバーと手差しトレイを閉じます。

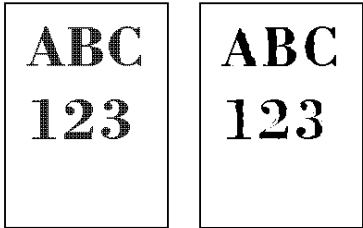
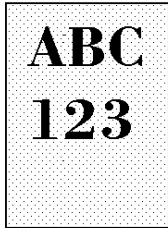
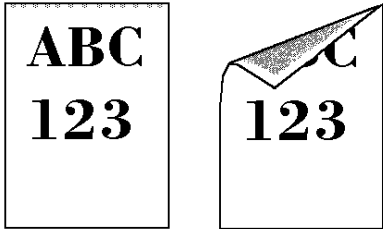
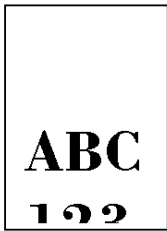
4　困ったときは

この章では、トラブルが発生したときの対処方法を説明します。

一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。プリンタに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に次のチェックを行ってみてください。

現象	確認事項	処置
印刷品質が悪い。	4-3 ページの**印刷品質の問題**を参照してください。	
用紙がつまった。	4-10 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。	
電源を入れても、操作パネルに何も表示されず、ファンの回る音もしない。	電源コードがプリンタとコンセントに差し込まれているか、確認してください。	電源を一度切ってから、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れなおしてください。
	電源スイッチがオン（｜）の位置になっているか確認してください。	電源スイッチをオン（｜）の位置にしてください。
ステータスページは正常に印刷するが、コンピュータからのデータが正常に印刷されない。	接続しているケーブルを確認してください。	接続しているケーブルを両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。 インタフェースの仕様については、**使用説明書 応用編 付録（インタフェース）**を参照してください。
	プログラムファイルや、アプリケーションソフトを調べてみてください。	別のファイルを印刷してみてください。または、別のアプリケーションで印刷してみてください。ある一定のファイルやアプリケーションのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションソフトのプリンタ設定等を確認してください。

さらに、次の点を確認してください。

- プリンタに接続しているコンピュータを再起動してください。
- 最新バージョンのプリンタドライバを使用してください。京セラミタ株式会社のホームページからダウンロードできます。
  http://www.kyoceramita.co.jp/download/

以上のチェックを行ってみても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

印刷品質の問題

印刷品質の問題には、印刷ムラなどさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じた処置の方法を説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

印刷例	処置
何も印刷しない。	トナーコンテナを確認してください。 プリンタの上部カバーを開き、トナーコンテナがプリンタに正しく装着されているかを確認してください。詳しくは 3-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
	アプリケーションソフトが正しく動いているかを確認してください。
全体に黒一色で印刷される。 	ドラムユニットを確認してください。 プリンタの上カバーを開き、ドラムユニットが正しく装着されているかを確認してください。詳しくは 3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
白抜けや黒点や横線が印刷される。	レジストローラを清掃してください。 プリンタの上カバーと手差しトレイを開き、乾いた柔らかい布を使用して、レジストローラを清掃してください。詳しくは 3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
縦線が入る。	操作パネルを確認してください。 **「トナー ガ スクナクナリマシタ」**が表示されているときは、トナーコンテナを交換してください。詳しくは 3-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください
	レジストローラを清掃してください。 プリンタの上カバーを開き、乾いた柔らかい布を使用して、レジストローラを清掃してください。詳しくは 3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。

印刷例	処置
画像が薄い、またはぼやける。	エコプリントの設定を確認してください。 設定が**オン**の場合、操作パネルから**オフ**に切り替えてください。
	レジストローラを清掃してください。 プリンタの上カバーを開き、乾いた柔らかい布を使用して、レジストローラを清掃してください。詳しくは 3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
	用紙種類の設定が正しいか確認してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。
	操作パネルを確認してください。 **「トナー ガ スクナクナリマシタ」**が表示されているときは、トナーコンテナを交換してください。詳しくは 3-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
背景が一様にうすい色になる。	操作パネルを確認してください。 **「トナー ガ スクナクナリマシタ」**が表示され、アテンションインジケータが点灯しているときは、新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは 3-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
	印刷濃度を確認してください。 操作パネルから印刷濃度のメニューを表示して、薄い濃度に設定してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（印刷濃度の設定）**を参照してください。
用紙の先端や裏側が汚れる。	給紙カセットの給紙経路を清掃してください。 詳しくは 3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
印刷位置がずれる。	アプリケーションソフトが正しく動いているかを確認してください。

エラーメッセージ

次の表では、お客様で対処可能なメンテナンスメッセージを挙げています。**「サービス ヲ オヨビ クダサイ」**または「Call service」が表示された場合はプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

メッセージとともにブザーが鳴る場合もあります。ブザーを止めるには、［**キャンセル**］キーを押してください。

メッセージ	処置
Call service F###	プリンタコントローラのエラーが発生してプリンタは停止しました。「###」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。
Call service F000	プリンタコントローラと操作パネル間のデータのやり取りができません。プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。
e-MPS ヲホゾンデキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	e-MPS 機能を使った印刷時に、マイクロドライブや RAM ディスクの容量が不足している、またはマイクロドライブ未装着時に RAM ディスクが無効となっているため、印刷できませんでした。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、エラーレポートを出力し、印刷可能な状態に戻ります。
Error.Power off. F###	電源を切ってから再度入れなおしてください。このメッセージが再度表示されたら「###」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。
IDガ チガイマス	プライベートプリントまたはジョブ保留の印刷時に、入力したアクセスコードとプリンタドライバで設定したアクセスコードが違います。正しいアクセスコードを確認してください。プライベートプリントやジョブ保留については、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（e-MPS 機能について）**を参照してください。
KPDL エラー　## カイジョ ヲ オシテクダサイ	KPDL（PostScript Level 3 互換のページ記述言語）のエラーです。印刷を再開するために［**印刷可 / 解除**］キーを押します。印刷を中止する場合は、［**キャンセル**］キーを押します。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。モード選択メニューから**「>KPDL エラー ノ インサツ」**を選択し、オンにするとエラーレポートが出力されます。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
MemoryCard err20	データ読み込み中に、プリンタのスロットから CF カードが抜かれました。CF カードからの読み込みを続けたい場合は、電源を切ってから再度入れなおした後、同じ CF カードをスロットに再度装着してください。プリンタはデータを初めから読み取ります。
MK ヲ コウカンシテクダサイ	メンテナンスキットの交換が必要です。メンテナンスキットは、約 300,000 イメージの印刷ごとに交換します。お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。
RAMディスク エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	RAM ディスクエラーが起こりました。「##」にエラーコードが表示されます。RAM ディスクエラーは 4-9 ページの **RAM ディスクエラー ##** を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
USBメモリ エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	USB メモリエラーが起こりました。「##」にエラーコードが表示されます。USB メモリエラーは 4-9 ページの **CF カードおよび USB メモリのエラー ##** を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。

メッセージ	処置
USB メモリ ガ ヌカレマシタ カイジョ ヲ オシテクダサイ	USB メモリの取り外しメニューを実行しないで取り外したときに表示されます。 ［**印刷可 / 解除**］キーを押した後、USB メモリの取り外しメニューを実行して取り外してください。USB メモリの取り外しメニューについては、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（USB メモリの操作）**を参照してください。
VMB ガ イッパイデス	バーチャルメールボックスの容量が不足しています。バーチャルメールボックス内のジョブを出力してください。バーチャルメールボックスについては、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（e-MPS 機能について）**を参照してください。
インタフェース シヨウチュウ	使用中のインタフェースの設定を、操作パネルで変更しようとしました。このインタフェースのプリントジョブが完了するまで待ってください。
ウエカバー ヲ トジテクダサイ	プリンタの上カバーが開いています。上カバーを閉じてください。
ウエ トレイ ノ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	フェイスダウントレイに用紙がたまっています。フェイスダウントレイにある用紙をすべて取り除いてください。用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。
ウシロユニット ヲ トジテクダサイ	プリンタの後ユニットが開いています。後ユニットを閉じてください。
カセット# ヲ イレテクダサイ	給紙カセットが入っていません。表示された番号の給紙カセットを正しく入れてください。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。
カセット# ニ ヨウシガアリマセン	給紙元の用紙がなくなりました。表示された給紙元（給紙カセット、手差しトレイまたはオプションのペーパーフィーダ）に、要求された用紙を補給してください。 プリンタの状態を示すメッセージ（**「プリント デキマス」**、**「シバラク オマチクダサイ」**、**「データ ショリチュウデス」**、**「ページガ　ノコッテイマス」**、**「ジドウ カイページチュウ」**）が交互に表示されます。（コピー枚数を 2 枚以上に設定している場合、**「データ ショリチュウデス」**は、交互表示されません。）
カセット#カラ キュウシシマス （用紙サイズ/用紙種類）*	印刷データと一致した給紙カセット内（用紙サイズ、用紙種類）に用紙がありません。操作パネルに表示された給紙カセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。違う給紙元から印刷をしたい場合は、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。
カミヅマリデス ################	紙づまりが起こりました。紙づまりの場所は、「#...#」に表示されます。詳しくは 4-10 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
ゲンゾウユニット ガ アリマセン	現像ユニットが未装着か、正しく装着されていません。現像ユニットをプリンタ本体に装着してください。
キュウシケイロ ガ アイテイマス	ペーパーフィーダに給紙カセットが装着されていないか、正しく装着されていません。給紙カセットを正しく装着してください。オプションのペーパーフィーダを装着し、下段のペーパーフィーダを給紙元として選択している際に、上段のペーパーフィーダまたはプリンタの給紙カセットが正しく装着されていない場合に表示されます。
サービスヲ オヨビクダサイ ####:0123456	機械的なエラーが発生してプリンタは停止しました。「#」に 4 桁の数字やアルファベットが表示され、プリンタの総印刷ページ数も同時に表示されます。「#」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

メッセージ	処置
シテイガイ ノ トナーガ ソウチャク サレテイマス	装着しているトナーが指定外品の場合に表示されます。 一度「**トナー ガ スクナクナリマシタ**」や「**トナーヲ コウカンシテクダサイ ソウジ モ シテクダサイ**」が表示されたトナーコンテナを、同機種であっても他のプリンタに装着した場合は、このメッセージが表示される事がありますが、そのまま使用しても問題ありません。
テザシ ニ ヨウシヲ イレテ カイジョ ヲ オシテクダサイ	KPDL エミュレーション選択時に、手差しトレイが優先モードの場合は、手差しトレイからの印刷は 1 枚ごとにこのメッセージが表示されます（手差しモード）。手差しトレイに用紙が正しくセットされていることを確認して、［**印刷可 / 解除**］キーを押してください。手差しトレイの優先モードについては、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（用紙の設定）**を参照してください。
テザシカラ キュウシシマス （用紙サイズ/用紙種類）*	プリンタに印刷データと一致した給紙カセット（用紙サイズ / 用紙種類）がありません。手差しトレイに用紙を入れて［**印刷可 / 解除**］キーを押すと印刷を再開します。印刷データと一致しない用紙を手差しトレイに入れた場合、紙づまりが発生するおそれがあります。 異なったサイズの用紙から印刷するには、**「ダイヨウキュウシシマスカ？」**が表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。そして、希望する給紙元およびサイズが表示されるまで、▲ または ▼ キーを押します。給紙元を設定後、［実行］キーを押すと、**「ヨウシ ノ セッテイ ＞」**が表示されます。▶ キーを押すと、用紙種類の設定メニューが表示されます。正しい用紙種類を設定した後、［実行］キーを押して印刷を開始します。
トナー ガ スクナクナリマシタ	トナーが少なくなりました。新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは、3-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
トナーヲ コウカンシテクダサイ ソウジ モ シテクダサイ	新しいトナーキットを使用してトナーコンテナを交換してください。このメッセージが表示されているときは、プリンタは動作しません。
ハードディスク エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	マイクロドライブにエラーが起こりました。「##」にそのエラーコードが表示されます。詳しくは 4-9 ページの**記憶装置のエラーコード**を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
ハードディスク ノ フォーマット ヲ シテクダサイ	プリンタに装着されたマイクロドライブがフォーマットされてないため、データの読み取りまたは書き込みができません。マイクロドライブをフォーマットしてください。詳しくはマイクロドライブの使用説明書を参照してください。
ハイキトナーボックス ヲ カクニンシテクダサイ	廃棄トナーボックスが装着されていないか、または廃棄トナーボックスがほぼ満杯です。廃棄トナーボックスを装着または交換してください。
ヒダリカバー ヲ トジテクダサイ	プリンタの左カバーが開いています。左カバーを閉じてください。
ファイル ガ アリマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	マイクロドライブ、RAM ディスク、または CF カードに指定したファイルがありません。または、バーチャルメールボックスのトレイにデータがないか、指定したトレイがありません。マイクロドライブ、RAM ディスク、CF カードについては、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（マイクロドライブおよび CF カードの操作）**を参照してください。バーチャルメールボックスについては、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（e-MPS 機能について）**を参照してください。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
フクスウインサツ デキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	マイクロドライブあるいは RAM ディスクが装着されていないため、複数部印刷できません。マイクロドライブを装着するか、拡張メモリを増設して、RAM ディスクの設定を行ってください。 または、マイクロドライブあるいは RAM ディスクの空き容量が不足しているため、複数部印刷できません。不要なファイルを削除してください。

メッセージ	処置
プリンタ ヲ ソウジシテ カイジョ ヲ オシテクダサイ	プリンタ内部を清掃してください。詳しくは 3-12 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。 **「トナーヲ コウカンシテクダサイ ソウジ モ シテクダサイ」**が表示された後にトナーコンテナを交換した場合、このメッセージが表示されます。プリンタ内部を清掃し、［**印刷可 / 解除**］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。
プリント オーバーラン カイジョ ヲ オシテクダサイ	プリンタの内部メモリが不足しているため、エラーが起こりました。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。メモリを増設して、印刷をやり直してください。
メモリーオーバーフロー カイジョ ヲ オシテクダサイ	プリンタのメモリが不足しています。ステータスページを印刷すると、現在のメモリ量を確認できます。 メモリを増設してください。印刷を再開するには［**印刷可 / 解除**］キーを押します。印刷を中止する場合は、［**キャンセル**］キーを押します。オートエラークリアがオンの場合は、一定時間が経つと自動的に印刷を開始します。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（その他の設定）**を参照してください。
メモリカード エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	CF カードにエラーが起こりました。「##」にエラーコードが表示されています。詳しくは 4-9 ページの **CF カードおよび USB メモリのエラー ##** を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
メモリカード ノ フォーマット ヲ シテクダサイ	CF カードがフォーマットされてないため、データの読み取りまたは書き込みができません。CF カードをフォーマットしてください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（マイクロドライブおよび CF カードの操作）**を参照してください。
メモリ ガ フソクシテイマス	プリンタの内部メモリが不足しています。メモリを追加してください。または、不必要なダウンロードフォントやマクロを削除してください。
メモリ フソク ノ タメ インサツガ カンソカサレマシタ	メモリ不足のため、指定した解像度で印刷できませんでした。メモリを増設して、印刷をやり直してください。
リョウメンインサツ デキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	両面印刷できない用紙サイズまたは用紙種類が選択されているため、両面印刷ができません。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと片面で印刷を行います。

* / で区切られたメッセージは交互に表示されます。

記憶装置のエラーコード

マイクロドライブのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	マイクロドライブのフォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	ディスクシステムがインストールされていません。システムおよび機器に必要な環境を確認してください。
04	マイクロドライブに必要な容量が不足しています。マイクロドライブ内のデータを整理し、領域を拡大してください。
05	指定したファイルがマイクロドライブ内にありませんでした。
06	マイクロドライブに必要なメモリが不足しています。メモリの拡張を行ってください。
10	ホストデータがマイクロドライブにスプールされているので、フォーマットできません。**「プリント デキマス」**になってからフォーマットしてください。
85	バーチャルメールボックスのトレイの名称が不正です。正しい名称を設定してください。
97	文書データが制限値に達しており、これ以上保存できません。文書データを整理するか、制限値を上げてください。
98	読み取れないページがあります。
99	指定された ID に対する文書データが存在しません。

CF カードおよび USB メモリのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	CF カードがこのプリンタの仕様に適していません。または壊れています。適応する CF カードを挿入してください。詳しくは付録 -6 ページの**マイクロドライブ（ハードディスク）および CF カード（メモリカード）**を参照してください。
02	CF カードが装着されていません。CF カードの使用に必要な環境を確認してください。
04	CF カードの容量が不足しています。不要なファイルを削除するなどしてください。
05	指定したファイルが CF カードまたは USB メモリ内にありませんでした。
06	CF カードに必要なメモリが不足しています。メモリの拡張を行ってください。

RAM ディスクエラー

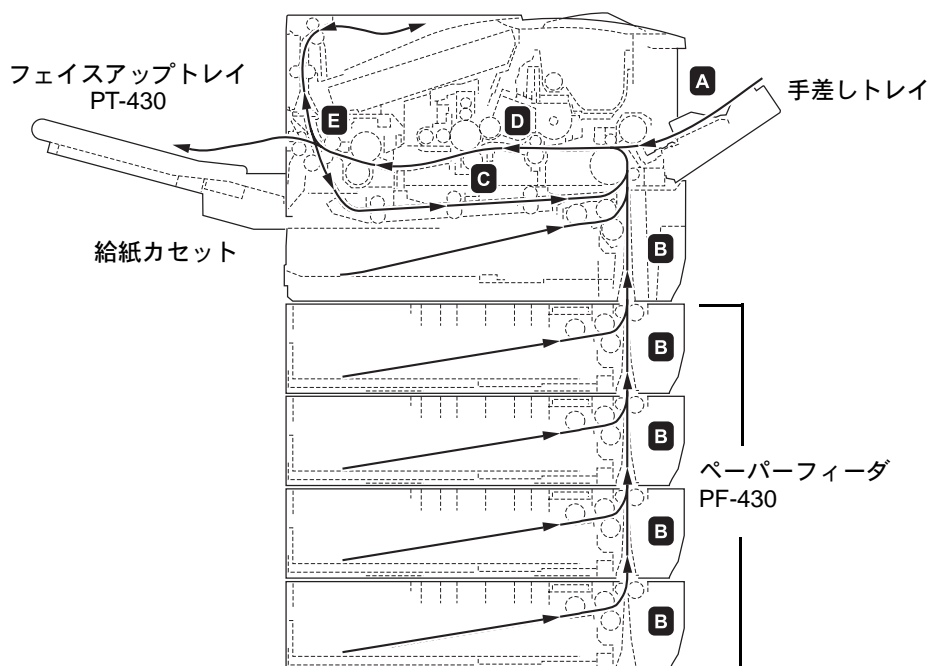
「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	フォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	RAM ディスクモードがオフになっています。RAM ディスクモードをオンにしてください。
04	RAM ディスクの容量が不足しています。RAM ディスク内のデータを整理してから、再度作業を行ってください。または、RAM ディスクの領域を拡大してください。
05	指定したファイルがディスク上にありませんでした。
06	ディスクシステムで使用できるメモリが足りません。プリンタにオプションの拡張メモリを増設してください。

紙づまりの処置

用紙がプリンタ内でつまったときや、用紙が給紙カセットより給紙されなかったときなどにはプリンタは停止し、紙づまりのメッセージと紙づまり発生位置を表示します。つまった用紙を取り除くと通常の状態に戻り、印刷が再開します。

紙づまりのメッセージが表示された場合、プリンタはオフラインになります。

メッセージと紙づまり位置の詳細は次のとおりです。参照ページを参照して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまりメッセージ	紙づまりの場所	内容	参照ページ
カミヅマリデス テザシトレイ	A	手差しトレイで紙づまりを起こしています。	4-11 ページ
カミヅマリデス カセット1(〜5)	B	プリンタ本体の給紙カセット、またはオプションのペーパーフィーダの給紙カセットで、紙づまりを起こしています。	4-12 ページ
カミヅマリデス リョウメンインサツ ユニット	C	両面印刷ユニットで紙づまりを起こしています。	4-13 ページ
カミヅマリデス ホンタイ	D	プリンタ内部で紙づまりを起こしています。	4-14 ページ
カミヅマリデス ウシロユニット	E	排紙トレイ、または後ユニットで紙づまりを起こしています。	4-15 ページ

紙づまりについて

紙づまりがしばしば起こる場合は、用紙の仕様が本機に合っていない可能性が考えられますので、用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様については**使用説明書 応用編 1 用紙について**を参照してください。用紙を変えて試してみても、紙づまりがしばしば起こる場合は、プリンタに何らかの問題がある場合が考えられますので、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は裏表紙を参照してください。

重要：つまった用紙を取り除く際は、プリンタ内に紙片を残さないよう注意してください。

紙づまりを起こしたページは、紙づまりが発生した場所によって再印刷されない場合があります。

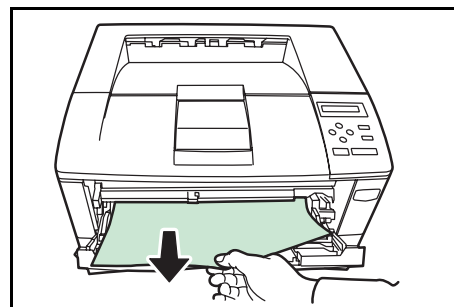
オンラインヘルプメッセージ

本機はオンラインヘルプメッセージ機能により、紙づまりの処理方法がメッセージディスプレイに表示されます。紙づまりのメッセージが表示された場合は、［?］キーを押してください。オンラインヘルプメッセージは ▼ キーで次の手順のメッセージが表示され、▲ キーで前の手順に戻ります。

オンラインヘルプを参照しながら紙づまりの処理ができます。

手差しトレイでの紙づまり

手差しトレイで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

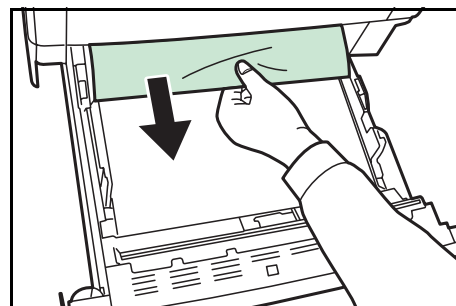
1 手差しトレイにつまった用紙を取り除きます。

2 手差しトレイに用紙をセットしなおします。
プリンタの上カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

重要：用紙が取り出せない場合は、無理に取り出さずに 4-14 ページの**本体内部での紙づまり**に進んでください。

給紙カセット内での紙づまり

給紙カセットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

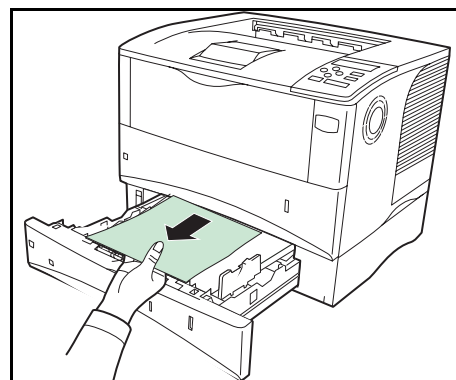
1. 給紙カセットを引き出し、つまった用紙を取り除きます。

   用紙が正しくセットされていない場合は、セットしなおしてください。

2. 給紙カセットを奥まで押し込んで戻します。
   プリンタの上カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

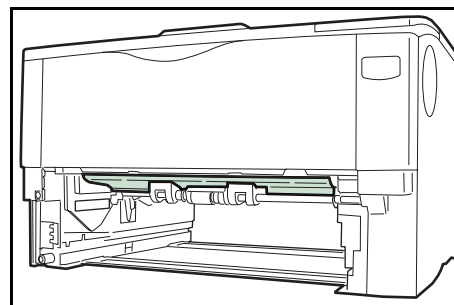
重要：つまった用紙がプリンタ内部に達している場合は、4-14 ページの**本体内部での紙づまり**に進んでください。

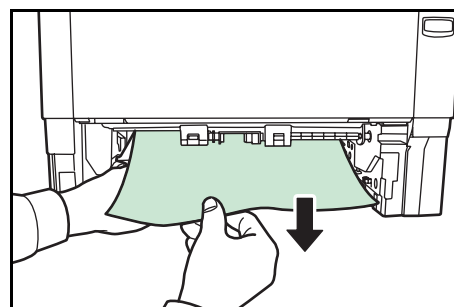
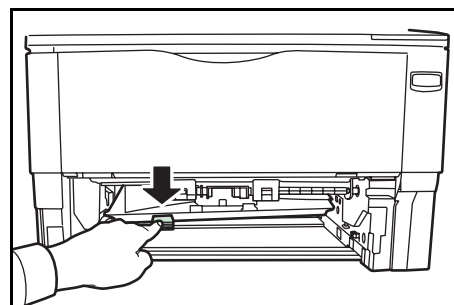
ペーパーフィーダ（オプション）での紙づまり

ペーパーフィーダで紙づまりが起きた場合は、給紙カセットを引き出し、つまった用紙を取り除きます。

重要：つまった用紙がプリンタ内部に達している場合は、4-14 ページの**本体内部での紙づまり**に進んでください。

両面ユニットでの紙づまり

両面ユニットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

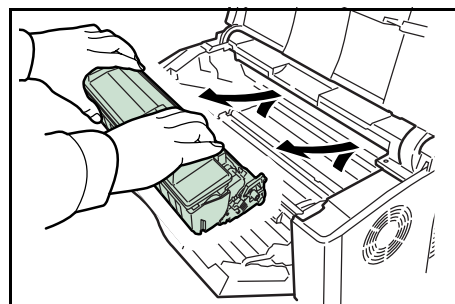
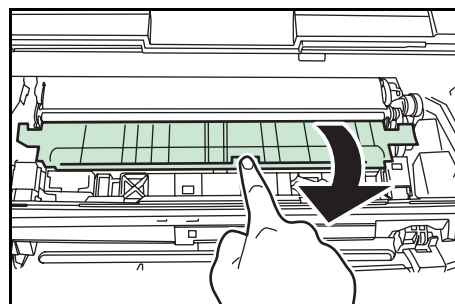
注意：両面ユニットの上にある板金は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。

1 給紙カセットをプリンタから抜き出します。

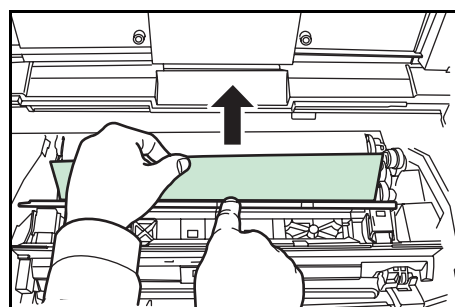
2 両面ユニットのカバーを開けて、つまった用紙を取り除きます。

3 給紙カセットをプリンタに戻します。

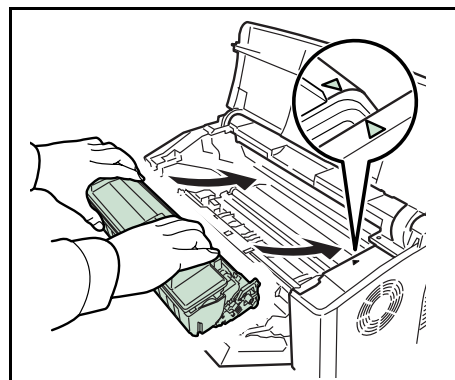
エラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

本体内部での紙づまり

本体内部で紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

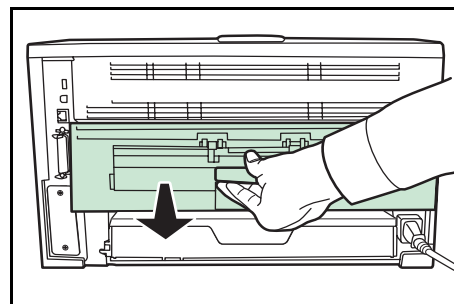
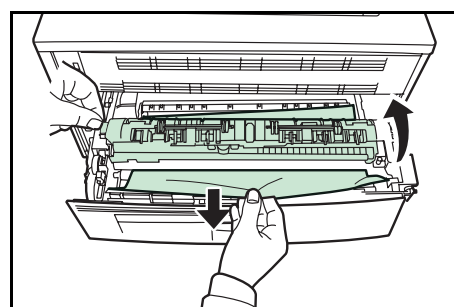
1 上カバーと手差しトレイを開け、トナーコンテナと一緒に、現像ユニットをプリンタから斜め上方向へ取り出します。

2 搬送路の保護カバーを開けます。

3 つまった用紙を取り除きます。

重要：ドラム部分に手を触れないでください。印刷品質が低下します。つまった用紙が見つからない場合は、後ユニットの奥側（本体後側内部）も確認してください。

参考：つまった用紙がローラにはさまっている場合は、用紙が給紙される方向に沿ってゆっくりと引き抜いてください。

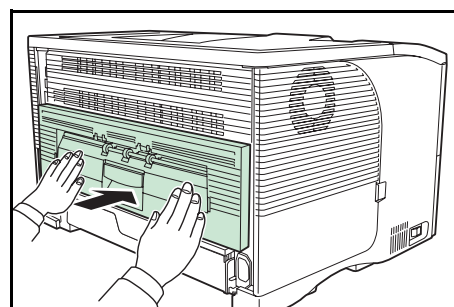
4 現像ユニットをプリンタに戻します。

5 プリンタの上カバーと手差しトレイを閉じるとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

排紙トレイと後ユニットでの紙づまり

排紙トレイと後ユニットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

1 用紙が完全に排紙されずに途中で止まってしまったときは、後ユニットを引き出します。

2 定着カバーを開けて、つまった用紙を引き出して取り除きます。

注意：本体内部は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。

重要：つまった用紙が見当たらない場合は、後ユニットの奥側（本体後側内部）も確認してください。

3 後ユニットを両手でしっかりと押し込みます。

4 後ユニットを閉じ、プリンタの上カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

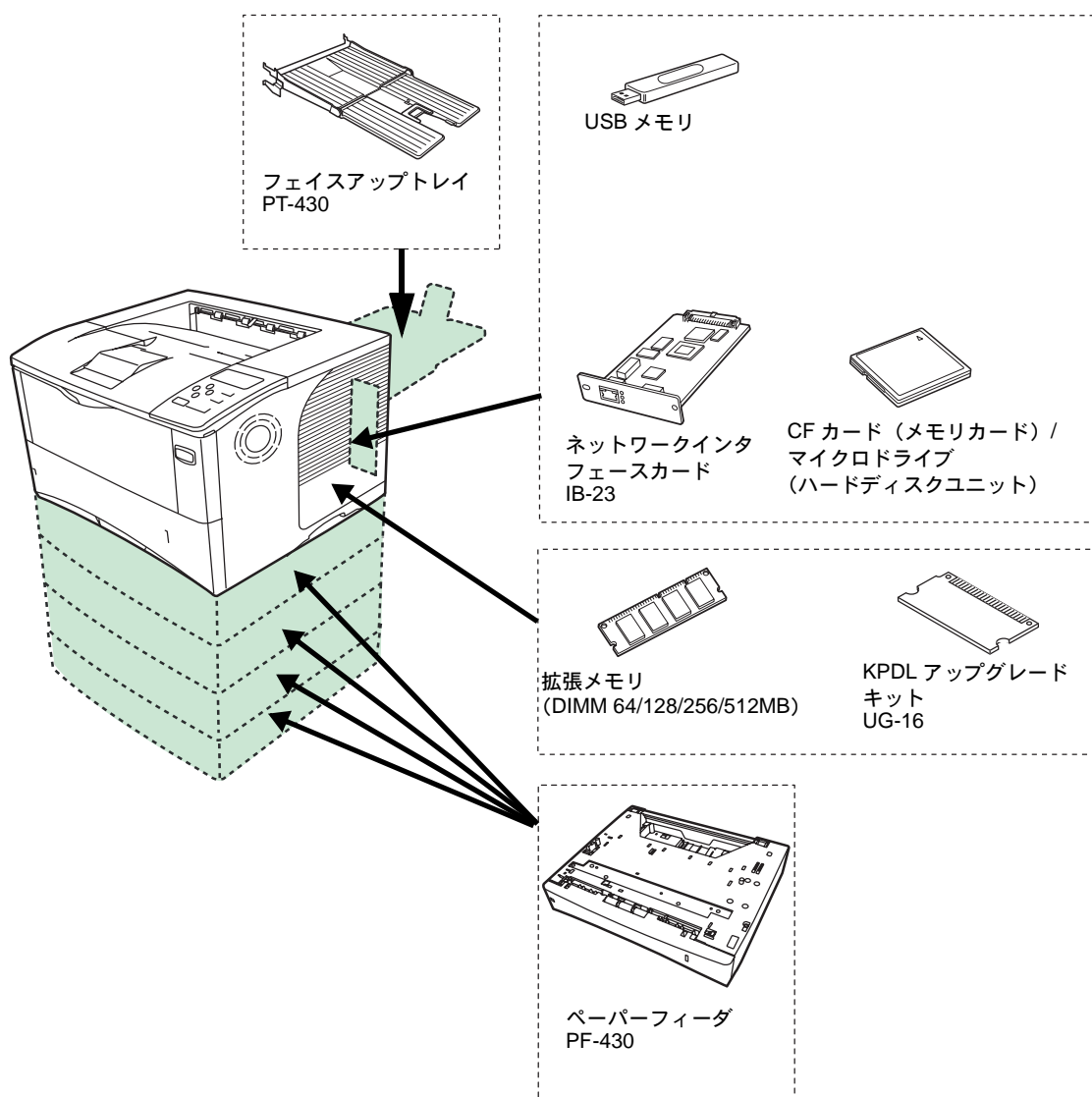
付録

ここでは、プリンタに装着できるさまざまなオプションと、本機の仕様について説明します。

オプションについて

本機は次のオプションが取り付け可能です。お客様の印刷上の用途に適したオプションをお選びください。
オプションの入手方法などについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

参考：プリンタの本体内に装着するマイクロドライブや拡張メモリなどは、外部に装着するオプション機器よりも先に装着してください。

オプションの取り付け手順について、詳しくは各オプション付属の説明書を参照してください。

拡張メモリ

メモリを増設するとより複雑なデータの印刷が可能になります。

本機にはメモリ増設のために空きスロットが用意されています。メイン基板にあるスロットにオプションの拡張メモリを装着することで、最大 576MB までプリンタのメモリを拡張できます。

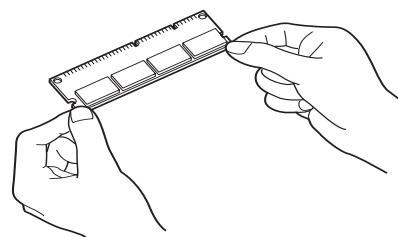
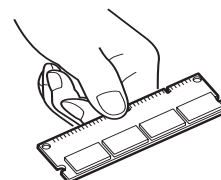
重要：拡張メモリの増設は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は裏表紙を参照してください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

対応拡張メモリ

拡張メモリには、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB があります。詳しくは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

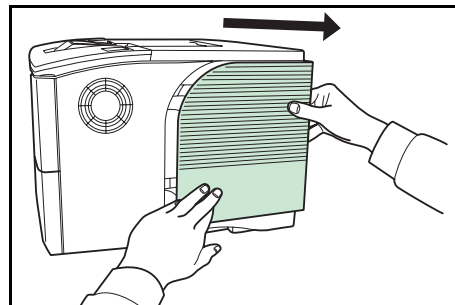
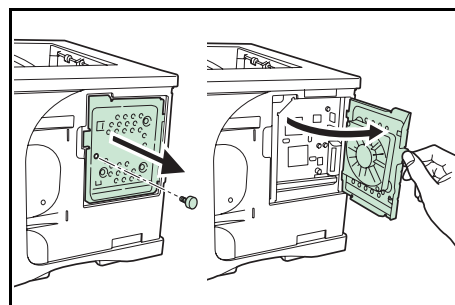
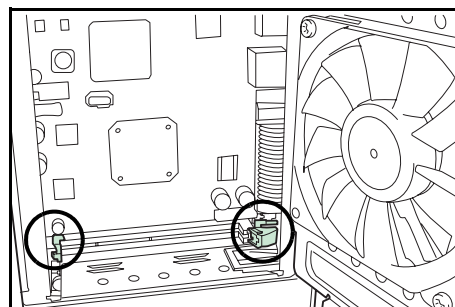
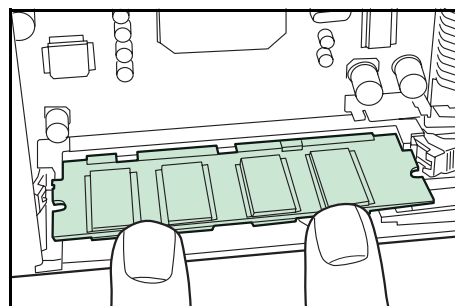
メイン基板およびメモリ取り扱い上の注意

衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリには大敵です。静電気による破壊からメモリを保護するために、装着前に次の事柄にご注意ください。

- メモリは、プリンタに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- メモリに触れる前に、水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。
- メモリを取り扱う際は、図のようにプリント配線部分には触れずに必ず基板の端を持ってください。メイン基板も電子部品を傷めないように端を持ってください。

メモリの取り付け

重要：作業をするには十分なスペースを確保してください。

1 プリンタの電源を切り、電源コードとプリンタに接続しているケーブルをすべて取り外します。

2 右カバーを開けます。

3 内部カバーのネジを取り外してカバーを開けます。

4 メモリソケットの両端にあるストッパを外側に開きます。

5 オプションの拡張メモリをパッケージから取り出します。メモリの端子部を下側にし、切り欠き部分とソケットの突起部分を合わせてまっすぐに差し込みます。

6 ストッパを閉じて装着した拡張メモリを固定します。

7 拡張メモリの装着後、内部カバーのネジを取り付け、右カバーを閉じます。

拡張メモリの取り外し

取り付けた拡張メモリを取り外す場合は、右カバーと内部カバーを開け、ソケット両端にあるストッパを外側に開きます。拡張メモリはソケットから外れます。

拡張メモリの確認

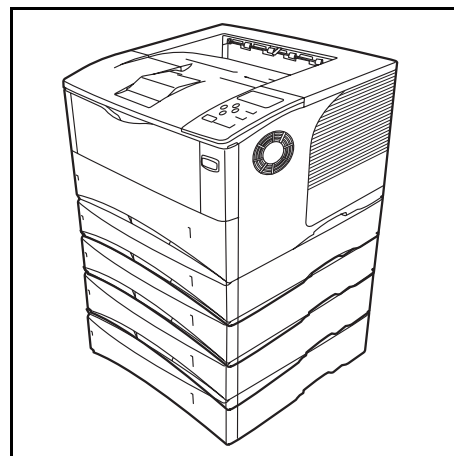
拡張メモリを装着してから、正しく装着されたかどうかを、次の方法で確認します。

1. プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードをプリンタにつなぎ、プリンタの電源をオンにします。
2. **「プリントデキマス」**が画面に表示されたら、操作パネルの［**メニュー**］キーを押します。
3. ▼ キーを**「ステータスページ ノ インサツ」**が表示されるまで押します。
4. ［**実行**］キーを 2 回押します。

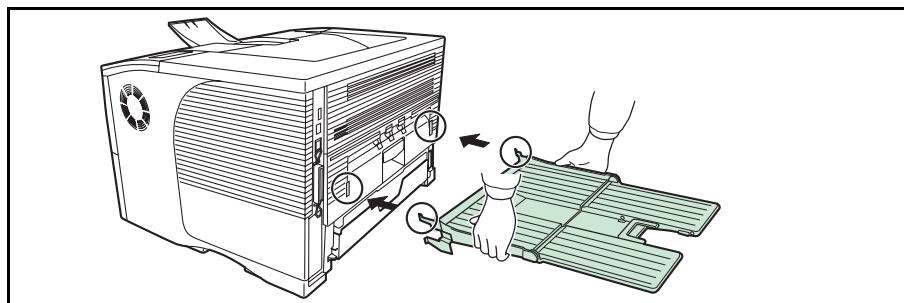
印刷されたステータスページで、メモリの量を確認します。メモリの増設が正しく行われていれば、トータルメモリの数値が増加しています。（工場出荷時、メモリの量は 128 MB です。）

ペーパーフィーダ（PF-430）

オプションの**ペーパーフィーダ** PF-430 には約 250 枚の用紙を収納できます。プリンタの下に 4 台まで重ねて装着できるので、プリンタの給紙カセットと合わせると最大 1250 枚を連続給紙できます。ペーパーフィーダ付属の給紙カセットで使用できる用紙は、本体と同様です。

ペーパーフィーダの取り付け手順については、ペーパーフィーダ付属の**使用説明書**を参照してください。

フェイスアップトレイ（PT-430）

用紙を印刷面が上（逆順）になるように重ねたい場合に使用します。また、厚紙や特殊紙などの出力は、フェイスアップトレイの使用をおすすめします。

フェイスアップトレイを図のように取り付けます。

マイクロドライブ（ハードディスク）および CF カード（メモリカード）

本機には、マイクロドライブおよび CF カードを装着できるスロットが 1 基あります。

マイクロドライブは印刷データの保存に使います。複数部印刷する時は、電子ソート機能で高速な印刷が可能になるなどのメリットがあります。また、e-MPS 機能を使用する場合は、マイクロドライブが必要です。

CF カードはオプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。CF カードからフォントを読み込む操作については、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（ストレージ装置の操作）**を参照してください。

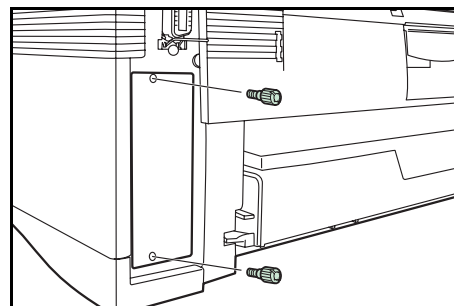
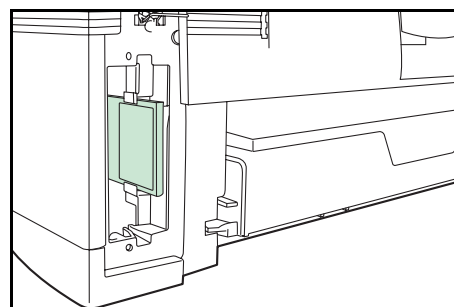
使用できるマイクロドライブおよび CF カードについては京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

参考：マイクロドライブの取り付けは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は裏表紙をご覧ください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

重要：マイクロドライブまたは CF カードをプリンタに装着する際は、プリンタの電源を切り、電源コードを抜いてください。

次の手順で、マイクロドライブまたは CF カードを装着します。

1 本機の電源を切り、電源コードと本機に接続しているケーブルをすべて取り外します。

2 拡張インタフェーススロットカバーを開けます。

3 スロットにマイクロドライブまたは CF カードを装着します。

4 拡張インタフェーススロットカバーを閉じます。

USB メモリ

USB メモリは、USB メモリスロットに接続して使用する、持ち運びが簡単なフラッシュメモリです。USB メモリを本体に装着し、印刷したい PDF ファイル名を操作パネルから指定することで、ファイルを印刷できます。本機で PDF ファイルを印刷するには、オプションの KPDL3 アップグレードキットが必要です。

USB メモリ内に他の拡張子のファイルが格納されていても、PDF ファイル名だけが操作パネルに表示されます。

USB メモリが印刷できるファイル数は、最大 100 件です。ファイル名が半角英数字で 99 文字までのファイルであれば印刷できます。ただし、メッセージディスプレイには 12 文字までしか表示されないため、13 文字以上のファイルはメッセージディスプレイで識別できません。

ファイル名に漢字やひらがななどの 2 バイト文字が含まれていると、メッセージリストで 2 バイト文字が文字化けして表示されます。また、印刷を実行するとエラーメッセージが表示され、印刷ができません。

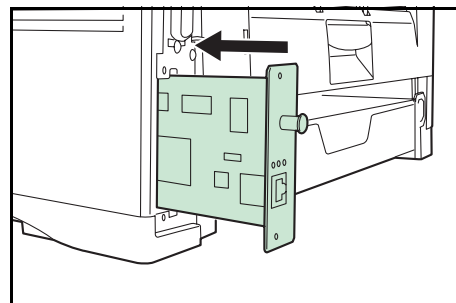
USB メモリ内の PDF ファイルを印刷する操作については、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（USB メモリの操作）**を参照してください。

使用できる USB メモリについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

ネットワークインタフェースカード（IB-23）

ネットワークインタフェースカードは、本体標準のネットワークインタフェース同様、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalk プロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などのさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

ネットワークインタフェースカードは、プリンタの後側にある拡張インタフェーススロットに装着します。

ネットワークインタフェースカードの取り付けや操作手順については、ネットワークインタフェースカードに付属の**使用説明書**を参照してください。

ネットワークインタフェースカード	ネットワーク接続
IB-23	10Base-T/100Base-TX

KPDL3 アップグレードキット（UG-16）

KPDL3 アップグレードキットをプリンタに装着すると、PostScript Level3 互換の印刷と、USB メモリに保存した PDF ファイルの印刷ができます。

重要：KPDL3 アップグレードキットの装着は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は裏表紙を参照してください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

仕様

重要：本機の仕様は改良などのために予告なしに変更することがあります。

項目		仕様
印刷方式		半導体レーザによる乾式電子写真方式
印刷速度	片面印刷時	A3：16 ページ / 分 A4：32 ページ / 分 A5：32 ページ / 分
	両面印刷時	A3：10 ページ / 分 A4：23 ページ / 分
解像度		Fine 1200、Fast 1200、600 dpi、300dpi
ファーストプリントタイム（A4）		23 秒以下
ウォームアップタイム（22 °C、60 %RH）	電源 ON から	約 15 秒以下
	スリープから	約 15 秒以下
CPU		PowerPC750CXr （400 MHz）
メインメモリ		64 MB（最大 576 MB）
OS		Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows NT 4.0、Microsoft Windows Server 2003 Apple Macintosh OS 9/X
インタフェース	パラレル	1（IEEE1284 準拠）
	USB	1（Hi-Speed USB）
	ネットワーク	1（TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalk プロトコルサポート）
	USB メモリスロット	1（Full-Speed USB）
	オプション	1（ネットワークインタフェースカード［KUIO-LV］）
CF カード / マイクロドライブスロット		1
USB メモリスロット		1（Full-Speed）
用紙サイズ	給紙カセット	A3、B4、A4、B5、A5、Ledger、Legal、Letter、Folio、Oficio II、Custom（139 × 148 mm ～ 297 × 432 mm）
	手差しトレイ	A3、B4、A4、B5、A5、A6、B6、Ledger、Legal、Letter、Folio、Oficio II、Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C4、Envelope C5、ISO B5、Executive、Envelope #6-3/4、Envelope #9、はがき、往復はがき、8K、16K、Statement、洋形 2 号、洋形 4 号、Custom（70 × 148 mm ～ 297 × 450 mm）
用紙種類	給紙カセット	普通紙、プレ印刷用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、厚紙、カラー印刷用紙、カスタム
	手差しトレイ	普通紙、OHP フィルム、プレ印刷用紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、厚紙、カラー印刷用紙、カスタム
用紙容量	給紙カセット	250 枚（80 g/m^2）
	手差しトレイ	100 枚（80 g/m^2）

項目		仕様
排紙トレイ容量	フェィスダウントレイ	250 枚（80 g/m^2）
	フェイスアップトレイ PT-430（オプション）	250 枚（80 g/m^2）
設置環境	温度	10 ～ 32.5 °C
	湿度	15 ～ 80 %RH
	海抜	2,500 m 以下
	照度	1,500 lux 以下
電源		AC100 V、50/60 Hz、9.0 A
消費電力	最大消費電力	926 W
	通常使用時	451 W
	待機時	9 W
	スリープモード時	4.9 W
稼動音†	プリント時	50 dB（A）
	待機時	40 dB（A）
	スリープモード時	測定限界以下
外形寸法	本体	幅 469 ×奥行き 395 ×高さ 285 mm
質量	本体	19.5 kg（トナーコンテナを除く）

† ISO7779 に準拠（バイスタンド位置、正面音圧レベル）

索引

KYOCERA

お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社
京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp

Rev. 1.1 2006.12

Printed in China　302G356011